

第10回 小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会 会議次第

と き 平成19年9月5日(水) 10:00～
ところ 教育委員会庁舎3階 第2会議室

1. 開 会

2. 議 題

- (1) 中間報告に対する市民意見について
- (2) 配布済み資料の改訂について
- (3) 答申について
- (4) 次回会議の日程及び議題について
- (5) その他

3. 閉 会

<p>2 個 人 1 件</p>	<p>今回出された中間報告の 5 適正配置を行う際に配慮すべき事項 の冒頭に「学校規模」だけでなく、通学区域、通学距離等、さらには学校が果たしてきた地域での役割などについて総合的な検討を加えていかなければならない」とあります。</p> <p>まさしくその通りで教育とは金のかかる事業で未来永劫に続けなければならない。「財政が逼迫しているから」「学校教育施行規則にのっとって」云々で片付けられることを一番心配している一人である。</p> <p>私は現在張碓町に住んでおりますが、当地区は他の地域では偏りがちな知・徳・体の実践が適確に行なわれていることを日々観察している。具体的に云うならば学校では小規模だからこそ「落ちこぼしのない学習指導」ができて、わかるよろこびを会得させている。学校を離れては通学途上で地域の住民に出会ったら「こんにちわ」、バスから降りるときには「ありがとうございました」と素直に云へる勇氣、日常の躰がよく できている。学校が終わったら好きなスポーツ団体に属し、あるいは近隣の友と 野外で遊び汗を流している。</p> <p>このような児童の気持を更に高めるかのように、校歌は「やしなう心は深くて遠く希望にもゆる目、日毎の努力、まどわぬゆく手はよい師の標、正しい道ふみ世のため励め（一部省略）」と謳っている。</p> <p>かように張碓小学校は人間形成にかかわる基礎が日常的に営まれている学校である。創立130年の式典も昨年終え、地域住民の誇りであり心の拠でもあります。小規模校であっても、金がかかっても親が安心して子供の教育を託せる学校を慎重に見極めていただくことを強く要望します。</p>																						
<p>3 個 人</p>	<p>この中間報告を読んで、この検討委員会では学校配置をどうするのが望ましいのかどうしたいのかがはっきりと明記されていない。</p> <p>3、4について</p> <p>現実問題として生徒・児童の数が減少している。平成24年度の子供の数からいくと、市がいう適正規模の学級数で必要な学校の数は単純計算で小学校10校中学校8～9校となる</p> <p>P1 2(1)から</p> <table border="1" data-bbox="303 1254 1244 1388"> <tr> <td rowspan="3" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">[</td> <td>平成24年度</td> <td>小学生</td> <td>5,327人</td> <td>30人学級で</td> <td>18クラス</td> <td>10校で</td> <td>5,400人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学生</td> <td>3,011人</td> <td>”</td> <td>12クラス</td> <td>8校で</td> <td>2,880人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>”</td> <td>”人</td> <td>”</td> <td>”</td> <td>9校で</td> <td>3,240人</td> </tr> </table> <p>市が適正規模の学校にこだわった場合、小学校は現在の3分の1中学校は3分の2で十分だということになる。そうなると通学の問題が出てくるこれだけ数が減った場合、当然校区も広くなり、通学時間も長くなるかかるとなる。今あるスクールバスだけでは対応できるのか疑問である。また子供に負担のかかるのはまちがいない。また中学校において学級数が多くなれば免許外教科担任を解消できるのか疑問である(クラス数の多い学校でも今現在免許外で教えている学校があるから)</p> <p>部活動に関してはクラス数の多い学校でも入部者が少なく成り立たない部があったり、他校との合同チームを組んでいるところもあると聞く。任意参加である部活動を教育条件の中に入れるのはおかしいと思う。</p> <p>5年後の子供の数で計算した学校数を受けて市が適正規模の学校にするために本当にこれだけの校数をへらすことができるのかとても疑問であり、あまりにも非現実的だと思う。</p> <p>大きな学校があり、小さな学校があり、これぞれの個性を認めてはダメなのか。地域の中で心豊かに育てるためには、やはり、地域の中に学校が必要である。子供の数が減ったから学校を集約して減らす、通学に時間がかかり、地域とのつながりもなくなり、結果、教育環境も悪くなる。それでは、小樽市に住もう、子供を育てようとは思わない。札幌の方が良い環境だという風になり、ますます子供の数が減るといふ悪循環である。</p>	[平成24年度	小学生	5,327人	30人学級で	18クラス	10校で	5,400人		中学生	3,011人	”	12クラス	8校で	2,880人		”	”人	”	”	9校で	3,240人
[平成24年度		小学生	5,327人	30人学級で	18クラス	10校で	5,400人															
			中学生	3,011人	”	12クラス	8校で	2,880人															
		”	”人	”	”	9校で	3,240人																

1 件	<p>ここは逆転の発想で考えたらどうだろうか。</p> <p>いまある学校それぞれの個性を大切に、どの学校にいても満足できるそんな学校づくりをすれば良いと思う。</p> <p>小さな学校で人間関係が良いというのなら他校との交流をもてばいい。免許外教科担任については、講師という形で必要とする学校に配置学校に配置をすればいい、部活動は、地域の中に、クラブチームを育成させ、指導者についても地域の中からでよう市や市教委がバックアップすればいい。そうして、一人一人きめこまやかな指導をして学力の底上げをすればいい。そうやって教育環境を良いものにすれば、子供を育てやすい街になり小樽で子育てをしたいと思う人が増えるのではと思う。これだけ、子供の数が減った今だからできることと思う。</p> <p>愛知県犬山市のように人とお金をかけて、子供のためにがんばっている市、市教委がある。小樽市も犬山市の教育方法を参考にしてほしい。そして、子供のために良い教育環境にしてほしい。</p> <p>はじめから統合ありき、減らすことありきが大前提での話し合いになってはいないか。本当に子供のことを考えているのか。そして、お金のないことを言い訳けにしていないか。将来、小樽市を担っていく子供の教育をいかにげんなものにはしないでほしい、教育は人と時間とお金がかかることを忘れないでほしい。これのどれひとつかけても良い教育はできないと思う。</p> <p>最後に忍路中学校は今年さまざまな理由で学校に行けなかった生徒をうけいれました。転校してきた生徒のへ行きたいという気持ちとそれを受け入れた学校、先生方と他人事ではなく一人一人の生徒がかかわってくれたおかげで、今現在通学をしています。これは小さな学校だからできたことと思います。市内にはかなりの数の不登校児童、生徒がいると聞きます。一度不登校になり傷ついた子供が人間関係を作り直すには小さな学校も必要だと思えます。</p>
4 団 体	<p>「1. はじめに」にかかわった意見</p> <p>○小樽市のまちづくりの基本スタンスに、「教育環境の優れたまち」を最優先 するという発想がないのが残念である。そう思う理由は、現在財政が逼迫しているにもかかわらず市立病院の建設が最優先で語られている現状がある。病院建設は老人など弱者優先のまちづくりであろう。それも大切だが、将来ある子どもや子どもを持つ若い親世代をまず大切にする戦略的なまちづくりをするのだというメッセージの込められた行政スタンスとまちづくりが見えれば、若い世代が住む街になり活気つくことも期待できる。老人や弱者最優先であればそうした人たちがさらに増えて(小樽の)将来はますますじり貧になる。(学校規模や配置を考えることは教育行政の中だけの小さな課題ではない。本市の将来がかかった戦略的な重要課題である。)</p> <p>○市民が、あるいは他市町村から小樽市の豊倉地区に移り住んだ住民の選択理由の重要な考えの一つに、豊倉小学校の存在がある。小規模で子ども同士・教師と子ども人間関係が濃く子どもが心豊かに成長していること、自然豊かな環境の中で特色ある教育をしていること、地域と学校の関係が深く互いが助け合って教育活動が行われていることなどを好意的に受け止め、この地域の環境を好んで移り住んできた人が多い。統廃合で豊倉小学校がなくなれば、いろいろ考えこの地域を選んでやってきた多くの人は、廃校をあきらめきれないと思う。</p> <p>○本市の財政困窮が、統廃合を進める最大の理由であろう。多くの市民(保護者や地域か</p>

ら学校がなくなるのではないかと心配している人たち)は、統廃合の理由付けがいろいろ語られても、最終的に財政的な理由とわかっている。(詭弁を弄さないでほしい。)

「2. 小樽市立小中学校の現状」にかかわった意見

○昭和30年代の児童生徒数がピークの頃と比べ、現在は人数が激減していることに改めて驚いた。それにもかかわらず学校数が増えない(むしろ増えている)現状については理解した。しかし、そうした現状の中で、自分の地域の学校が統廃合の対象となり、廃校が現実味を帯びてきたらそれを客観的にとらえることは難しいと思う。

「3. 学級編成と学級規模・学校規模」、「4. 学校配置の在り方」にかかわった意見

○一クラスの定員を40名としている現状は、教育の質を高めようとするのであれば、全くおかしい決まりである。今回を契機に、小樽標準のフレームづくりを行い一クラス20名定員くらいの意気込みで、教育環境の改善を進めてほしい。質の高い教育をしようとするならば、一クラスの人数を20名程度とすることになるであろう。本市も、そうした気概を持って学校の規模や配置を考えてほしい。

○複式を解消していこうという考えには賛成である。しかし複式学級があるから統廃合の時に廃止される側の学校になるとすれば納得できない。大が小を飲み込むという統廃合がよろしくないという考えに基づいて、なくなった学校の良さを、統合先の学校に必ず残す努力をしなさいという、学校任せの(無責任な)方針でなく、大きな校区を持つ学校の校区を削り、小規模の学校にまわして、小規模校の複式を解消するという対応が強く望まれる。だいたい学校の校風や伝統などは、その学校のある地域特性や規模なども大きく影響して、長年の積み重ねで培われるものである。行政側の都合で切り貼りして、互いの良さを新しい学校の新たな伝統にせよと言うのは無責任である。

○本校は子どもが子どもらしく育っている。しょうがいのあるような子どもが入っても違和感なく受け止める雰囲気があり、大きな学校では居場所のないような子どもも生き生きと活動している。学習の効率を追求することが最優先でなく、子どもの心を人間らしく豊かにすることが、より重要である。(そう考えると)本校の存在価値はとても大きい。

○学習の効率や人間関係を学ぶ上で、12～18学級が望ましい学校規模であるという考えが示されているが、こと人間関係を学ぶということに関して言えば小規模校は素晴らしい教育環境であることを実感している。小規模校では子どもは必ず何らかの役割を果たす必要があり、濃密な人間関係の中で問題があってもそこから逃げず関係を修復したりすることを求められるので、人間的な成長が促されている。

○本校は、高学年が低学年の面倒を見るという素晴らしい伝統があり、この伝統は実際の学校生活の中でさまざまな場面で上級生から下級生に実際の行動を通じて受け継がれている。こうした校風を残していくことは、今の時代とても重要。

○学校の通学距離については、さまざまな問題を含んでいる。「中間報告」の考えの中に法令上4km以内を小学校の通学距離としていることが上げられているが、距離だけの問題ではない。冬道の状況、不審者などの不安、低学年の通学にかかる負荷など、法令上問題ないからと割り切られては困る。

「5. 適正配置を行う際に配慮すべき事項」、「6. 適正配置計画の進め方」にかかわった意見

○地域に住む住民という立場で言うと、望ましい地域コミュニティーとは、近所の子どもを、地域の大人が知っていて、みんなが我が子のように扱える雰囲気である。豊倉地区にはその雰囲気がありこれはぜひ残したい。地域コミュニティーのためにも豊倉小はぜひ残してもらいたい。H16.9.2の適正配置特別委員会では、当時の担当者が「小学生の通学距離は2km以内が望ましい」という見解を示している。また学校規模が大きくなり子どもの人数が増えれば増えるほど指導が難しくなることは自分の(高校での教員としての)経験で痛感している。市が子どもにとって望ましい教育環境づくりを進めるために小さい学校を大きな学校に統合しようとするなら、逆に教育環境を悪い方向に向けていることになる。

○地域の中心に学校がある。特に豊倉はそうである。自分の家庭は子どもが成人して豊倉に通う子どもはいないが、地域に学校がありそこに通う子どもを身近に感じることで大きなエネルギーをもらっている。また学校があるから(通学路として)除雪が確実に行われたり、子どもの安全のために地域が協力してパトロールしたりという活動が成り立って地域の治安を良くすることに(学校の存在が)大きな役割を果たしている。もし豊倉小学校が廃校になったらと思うと大きな不安を感じる。この地域の住民は豊倉小学校の存在を通じて心がつながっている。

○地域の実態として、豊倉小学校は地域の人々に愛されている。運動会、餅つきなどは学校行事の範囲を超えて、地域の行事のように住民がとらえ、楽しみにしている人が多い。

○子どもの存在、学校の存在によって地域の大人の心もつながっている。

○地域の高齢者施設の入所者なども、朝の豊倉小学校の児童の「おはようございます」の挨拶が聞きたくて、児童の登校時刻に合わせて毎日バス停前に集まっている。

○仮に朝里方面に通わなければならないとすれば、湯ノ花付近を中心に人家のとぎれる通学路がととも長くなり安全上不安が大きい。豊倉の地域の方は子どもの顔をわかっている、登下校のようすを見守ってくれている。朝里方面には子どもの安全を考えると通わせられない。

○町内会としても、今後本市の学校適正配置に重要な関心を持っていく。その中で、豊倉学校の存続について全面的に支援する姿勢を貫きたい。

「小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会委員名簿」に関わった意見

○こうした検討委員会が組織されるときは、内容はまず結論ありきで、自分たちが導きたい結論に持って行くために人選されることが多いと感じてしまう。小規模校の立場を代弁してくださるような立場の方が見あたらないので、ついそう感じてしまうのかもしれないが…。

18件

- 5 平成19年度の張碓小学校は児童数66名、普通学級各学年1学級計6学級と特別支援学級1学級の計7学級で、中間報告でいう小規模校に該当します。
- 団 しかし、本校に通う児童の中には、都会を離れ自然が豊かで比較的規模の小さい学校に通わせたいと張碓に住所を移転したり、あるいは大勢の仲間集団にはなじみず、子どもの少ない本校に自分の居場所を期待して通っている児童もおります。
- 体

小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会の「中間報告」に対する 意見を募集します

小樽市教育委員会では、子供達のより良い教育環境の整備充実を図るため、現在、市立小中学校の規模や全市的な学校配置のあり方についての総合的な検討を行っております。

その中で、学識経験者や教育関係者、保護者、公募市民などからなる教育長の諮問機関「小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会」を設置、平成18年7月から9回にわたり会議が開催され、小中学校適正配置計画の策定に関して必要な事項についての検討がかさねられてきました。

同検討委員会では、本年9月頃を目途に最終的な考え方をまとめ、教育長へ答申する予定となっておりますが、さらに今までとは違った視点からの検討を進めることを目的に、これまでの議論をもとにした考えを「中間報告」として公表するとともに、広く意見を募集するものです。

次代を担う子供達のために、多くのご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

◆ 意見募集のテーマ

小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会の「中間報告」に対する意見

◆ 募集期間

平成19年6月20日（水） ～ 7月31日（火） ※郵送の場合当日消印有効

◆ 資 料

別紙「市立小・中学校における学校規模及び学校配置の在り方について[中間報告]」

※市ホームページ（アドレスは裏面参照）において、「小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会」のこれまでの会議の概略や、会議で使用された説明資料などがご覧になれます。

また、会議の概略や資料等は、教育委員会適正配置担当で閲覧することができます。（担当の住所等は裏面の[お問い合わせ・応募先]をご参照ください。）

◆ 意見提出方法

ご意見は、次の(1)または(2)のいずれかの方法により提出願います。応募先の住所・ファクス番号・電子メールアドレス等は、裏面の[お問い合わせ・応募先]をご参照ください。（下記(1)(2)のいずれも使用する言語は日本語とします。）

(1) 郵送・持参またはファクスによる場合

別紙「意見応募用紙」に必要事項を記載のうえ提出してください。応募用紙は、教育委員会学校教育課、市役所本庁舎1階渡り廊下（資料コーナー）、総合（小樽駅前）・銭函・塩谷の各サービスセンターに備えてあります。また、市ホームページから応募用紙のファイルをダウンロードのうえご利用いただいても結構です。（応募用紙は、PDF版、word版、一太郎版で作成しています。）

(2) 電子メールによる場合

特に様式の指定はありません。ご意見のほかに次の3項目の記載があれば結構です。ただし、ご意見のはじめには、ご意見に対応する中間報告の目次番号（「1(1)について」など）をお書き願います。なお、市ホームページの応募用紙ファイルを電子メールに添付送信されても結構です。

- ①意見募集のテーマの名称、②氏名（団体の場合はその名称及び代表者名）、
- ③住所（団体の場合は事務所や事業所の所在地）及び電話番号

[裏面へ続きます]

◆ 意見の取り扱いについて

- ・ お寄せいただいたご意見は、「小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会」で公表し、同検討委員会の答申に向けた議論の参考とさせていただきます。
なお、検討委員会の会議は公開としていることから、後日、会議概略を公開するとともに、お寄せいただいたご意見についても会議資料として公開いたしますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 提出された方の氏名や住所などの個人情報を公開することや、ほかの用途に使用することはありません。
- ・ ご意見に対して個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

[お問い合わせ・応募先]

小樽市教育委員会 教育部 学校教育課 適正配置担当
〒047-0024 花園5丁目10番1号（旧東山中学校）
電話 0134-32-4111（内線533）
ファクス 0134-33-6608
メールアドレス gakkou-tekisei@city.otaru.hokkaido.jp
ホームページ [http://www.city.otaru.hokkaido.jp/
kyouiku/gakkou/kibo-haiti/kibo-haiti.htm](http://www.city.otaru.hokkaido.jp/kyouiku/gakkou/kibo-haiti/kibo-haiti.htm)

	ページ
9-改 学級編制及び教職員配置の基準について	----- 57
10-改 北海道における少人数学級	----- 58
12-改 小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (S24～H19 実数)	----- 59
13-改 小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (H19～H25 推計)	----- 60
14-改 小樽市における出生数及び人口の推移 (S24～H18)	----- 60
15-改 出生数と児童生徒数の推移	----- 61
16-改 小中学校学級数の推移	----- 62
17-改 学級数規模別学校数の推移	----- 63
18-改 学級数規模別学校区分一覧	----- 64
19-改 平成19年度 学級編制表	----- 65
20-改 学校別1学級あたりの平均児童生徒数 (平成19年度 普通学級)	----- 66
21-改 学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計 (H20～H25 普通学級)	----- 67
22-改 学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計 (H20～H25 普通学級 平成19年度北海道少人数学級実践研究事業適用)	----- 68
23-改 学校別 児童生徒数・学級数推計 (H20～H25 普通学級)	----- 69
24-改 学校別 児童生徒数・学級数推計 (H20～H25 普通学級 平成19年度北海道少人数学級実践研究事業適用)	----- 70
25-改 出生率及び合計特殊出生率の推移	----- 71
26-改 小樽市の3区分人口 (年少・生産年齢・老年) の推移	----- 72
27-改 平成19年6月末 町別3区分人口	----- 73
28-改 平成19年6月末 小樽市内の地区別年少人口の分布	----- 74
30-改 学校施設等の概要	----- 75
31-改 指定小中学校の区域一覧 (小学校順)	----- 77
38-改 学校別 児童生徒数・学級数推移 (S24～H25 普通学級)	----- 80
39-改 地区別・学校別 児童生徒数推移 (直近20年)	----- 83
41-改 1学級あたりの児童生徒数の区分に応じた学級数とその割合	----- 89

9-改. 学級編制及び教職員配置の基準について

○公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

第3条 公立の義務教育諸学校の学級は、同学年の児童又は生徒で編制するものとする。ただし、当該義務教育諸学校の児童又は生徒の数が著しく少ないかその他特別の事情がある場合においては、政令で定めるところにより、数学年の児童又は生徒を1学級に編制することができる。

1. 学級編制基準

◇小学校

単式学級	40人以下
	(2の学年の計)
複式学級	16人以下
1年生を含む場合	8人以下
特別支援学級	8人以下

* 単式学級 同学年の児童生徒で編制する学級

* 複式学級 2の学年の児童生徒で編制する学級

* 特別支援学級

学校教育法第75条に規定する特別支援学級

◇中学校

単式学級	40人以下
	(2の学年の計)
複式学級	8人以下
特別支援学級	8人以下

2. 教職員定数配置基準 (普通学級の場合)

【校長及び教員】

下表の配置数は、校長1人を含み、教頭及び教諭等の合計

◇小学校

学級規模	1	2	3				4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
			単置校		併置校				100以下	101以上																			
			15人以下	16~37人	38人以上	37人以下																							38人以上
配置数	2	3	4	5	5	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	28	29

(人)

◇中学校

学級規模	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	単置校	併置校																			
配置数	4	3	6	9	9	10	11	13	15	16	18	20	21	22	23	25	26	28	30	31	33

(人)

* 養護教諭、事務職員等は別の基準による

10-改. 北海道における少人数学級

学級編制の弾力化の観点から、児童生徒の実態等を考慮して、全県一律に国の標準（40人）を下回る一般的な学級編制基準を設定することが可能になっており、平成17年度においては、45道府県において、小学校の低学年を中心に40人を下回る少人数学級が実施されています。

北海道においては、平成16年度から「少人数学級実践研究事業」として、小学校第1学年を対象に採り入れ、平成17年度は小学校第1・2学年に拡大し、さらに平成18年度からは、小学校第1・2学年、中学校第1学年で少人数学級を実施しています。

- ◆実施対象 対象学年の学級数が2学級以上で、1学級当たりの児童生徒数が35人を超える学校

学級編制の例

(人)

学級数	1	2	3	4
標準法の基準	0～40	41～80	81～120	121～160
北海道の少人数学級	0～40	41～70	71～105	106～140

- ◆本市の対象校（平成19年度）

○小学校

望洋台小学校 第2学年 78人→3学級

○中学校

望洋台中学校 第1学年 73人→3学級

銭函中学校 第1学年109人→3学級

（在籍数は5月1日現在）

11. 学校規模についての法令上の定義

○学校教育法施行規則

第17条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別な事情のあるときは、この限りではない。

（第55条で中学校に準用する旨を規定）

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

第4条 法第3条第1項第4号*の適正な規模の条件は、次の各号に掲げるものとする。

- 1 学級数がおおむね12学級から18学級までであること。
- 2 通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること。

*法第3条第1項第4号（義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律～国の負担）

公立の小学校及び中学校を適正な規模にするため統合しようとするに伴って必要となり、又は統合したことによって必要となった校舎又は屋内運動場の新築又は増築に要する経費 2分の1

12-改. 小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (S24~H19 実数)

年度	小 学 校						中 学 校						合 計			
	学校数	普通学級		特別支援学級		計		学校数	普通学級		特別支援学級		計		学級数	児童・生徒数
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数		
24	20	405	22,339			405	22,339	12	184	9,894			184	9,894	589	32,233
26	20	455	23,649			455	23,649	12	187	10,065			187	10,065	642	33,714
28	22	460	23,728			460	23,728	12	204	10,670			204	10,670	664	34,398
30	22	500	25,849			500	25,849	13	230	12,319			230	12,319	730	38,168
32	23	530	27,415			530	27,415	13	235	12,040			235	12,040	765	39,455
※33	26	573	29,363			573	29,363	15	243	11,696			243	11,696	816	41,059
34	27	565	28,521	1	15	566	28,536	15	241	11,565			241	11,565	807	40,101
35	27	541	26,630	3	41	544	26,671	15	265	12,927			265	12,927	809	39,598
36	27	504	24,404	3	31	507	24,435	15	298	15,022	1	9	299	15,031	806	39,466
37	27	473	21,773	3	35	476	21,808	16	326	15,974	2	17	328	15,991	804	37,799
38	27	464	20,186	3	24	467	20,210	16	317	15,242	2	29	319	15,271	786	35,481
39	27	463	19,030	4	33	467	19,063	16	306	13,901	2	28	308	13,929	775	32,992
40	27	457	18,022	5	33	462	18,055	16	281	12,162	3	33	284	12,195	746	30,250
41	27	451	17,378	5	29	456	17,407	16	257	11,019	4	44	261	11,063	717	28,470
42	27	448	16,788	7	55	455	16,843	16	246	10,118	4	41	250	10,159	705	27,002
43	27	446	16,369	6	48	452	16,417	16	232	9,349	4	41	236	9,390	688	25,807
44	26	446	16,371	7	50	453	16,421	16	222	8,735	5	50	227	8,785	680	25,206
45	26	446	16,225	8	62	454	16,287	16	209	8,183	5	55	214	8,238	668	24,525
46	26	449	16,143	8	54	457	16,197	16	202	7,969	7	62	209	8,031	666	24,228
47	27	445	15,857	8	59	453	15,916	16	200	7,857	7	55	207	7,912	660	23,828
48	27	439	15,586	10	81	449	15,667	16	198	7,786	7	58	205	7,844	654	23,511
49	27	445	15,766	16	108	461	15,874	16	196	7,682	8	59	204	7,741	665	23,615
50	27	440	15,746	16	114	456	15,860	16	200	7,724	10	64	210	7,788	666	23,648
51	27	436	15,659	17	124	453	15,783	16	200	7,836	8	51	208	7,887	661	23,670
52	28	438	15,743	18	139	456	15,882	16	204	7,927	8	42	212	7,969	668	23,851
53	28	444	15,898	18	141	462	16,039	16	201	7,826	8	45	209	7,871	671	23,910
54	28	452	16,370	21	121	473	16,491	16	194	7,536	7	42	201	7,578	674	24,069
55	28	453	16,251	21	123	474	16,374	16	197	7,609	9	49	206	7,658	680	24,032
56	28	452	16,177	21	111	473	16,288	16	196	7,693	10	47	206	7,740	679	24,028
57	28	449	16,028	21	110	470	16,138	16	203	7,906	10	45	213	7,951	683	24,089
58	28	439	15,750	21	105	460	15,855	16	200	7,836	10	45	210	7,881	670	23,736
59	29	431	15,274	22	102	453	15,376	16	202	7,861	10	35	212	7,896	665	23,272
60	29	408	14,553	21	92	429	14,645	16	205	8,053	10	37	215	8,090	644	22,735
61	29	396	13,737	22	99	418	13,836	16	207	8,130	9	32	216	8,162	634	21,998
62	29	378	12,881	22	87	400	12,968	16	202	8,061	9	38	211	8,099	611	21,067
63	29	366	12,122	22	81	388	12,203	16	192	7,670	8	35	200	7,705	588	19,908
元	29	356	11,461	20	82	376	11,543	16	189	7,302	8	33	197	7,335	573	18,878
2	28	346	10,898	21	84	367	10,982	17	188	6,933	8	25	196	6,958	563	17,940
3	28	342	10,346	21	83	363	10,429	17	190	6,664	9	31	199	6,695	562	17,124
4	28	334	9,856	21	74	355	9,930	17	184	6,291	8	27	192	6,318	547	16,248
5	28	326	9,488	23	82	349	9,570	17	177	5,899	8	22	185	5,921	534	15,491
6	28	315	9,034	24	80	339	9,114	17	166	5,515	7	16	173	5,531	512	14,645
7	28	302	8,576	24	85	326	8,661	17	157	5,289	8	16	165	5,305	491	13,966
8	28	291	8,146	25	85	316	8,231	17	148	5,121	9	20	157	5,141	473	13,372
9	28	281	7,776	18	39	299	7,815	17	144	4,923	10	25	154	4,948	453	12,763
10	28	273	7,489	20	39	293	7,528	17	138	4,629	9	26	147	4,655	440	12,183
11	28	258	7,198	19	36	277	7,234	17	133	4,385	11	29	144	4,414	421	11,648
12	28	251	7,022	20	37	271	7,059	17	126	4,123	12	29	138	4,152	409	11,211
13	28	250	6,879	28	51	278	6,930	17	124	3,946	11	24	135	3,970	413	10,900
14	28	245	6,726	29	45	274	6,771	14	117	3,713	14	26	131	3,739	405	10,510
15	28	237	6,586	31	48	268	6,634	14	114	3,590	12	20	126	3,610	394	10,244
16	28	241	6,454	28	46	269	6,500	14	107	3,417	14	26	121	3,443	390	9,943
17	28	235	6,315	31	50	266	6,365	14	102	3,324	18	27	120	3,351	386	9,716
18	27	223	6,155	34	55	257	6,210	14	101	3,197	21	36	122	3,233	379	9,443
19	27	220	5,942	39	55	259	5,997	14	102	3,161	22	38	124	3,199	383	9,196

※ 昭和33年4月、塩谷村との合併により、小学校3校(塩谷・桃内・忍路中央)・中学校2校(塩谷・忍路)を本市へ編入

※ 平成18年度以前の「特別支援学級」の欄は、平成19年4月以前の特殊学級を指す

13-改. 小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (H20~H25 推計)

年度	小 学 校							中 学 校							合 計	
	学 校 数	普通学級		特別支援学級		計		学 校 数	普通学級		特別支援学級		計		学級数	児童・生徒数
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数		
推計値① <1学級あたり40人以下として推計>																
20	27	216	5,822	38	52	254	5,874	14	100	3,111	22	39	122	3,150	376	9,024
21	27	215	5,751	38	52	253	5,803	14	98	3,109	22	34	120	3,143	373	8,946
22	27	213	5,614	37	50	250	5,664	14	97	3,099	19	30	116	3,129	366	8,793
23	27	206	5,419	33	46	239	5,465	14	95	3,035	24	32	119	3,067	358	8,532
24	27	203	5,273	32	45	235	5,318	14	94	2,972	23	32	117	3,004	352	8,322
25	27	198	5,152	32	45	230	5,197	14	92	2,874	18	25	110	2,899	340	8,096
推計値② <北海道における平成19年度少人数学級実践研究事業を適用し、小学校1・2年生及び中学校1年生は、1学級あたり35人以下で、その他の学年は1学級あたり40以下とした>																
20	27	217	5,822	38	52	255	5,874	14	104	3,111	22	39	126	3,150	381	9,024
21	27	216	5,751	38	52	254	5,803	14	103	3,109	22	34	125	3,143	379	8,946
22	27	214	5,614	37	50	251	5,664	14	101	3,099	19	30	120	3,129	371	8,793
23	27	208	5,419	33	46	241	5,465	14	100	3,095	24	32	124	3,127	365	8,592
24	27	206	5,273	32	45	238	5,318	14	96	2,972	23	32	119	3,004	357	8,322
25	27	202	5,152	32	45	234	5,197	14	98	2,874	18	25	116	2,899	350	8,096

※ 平成20年度以降の児童生徒数は、平成18年度までの出生数に基づく推計値。

14-改. 小樽市における出生数及び人口の推移 (S24~H18)

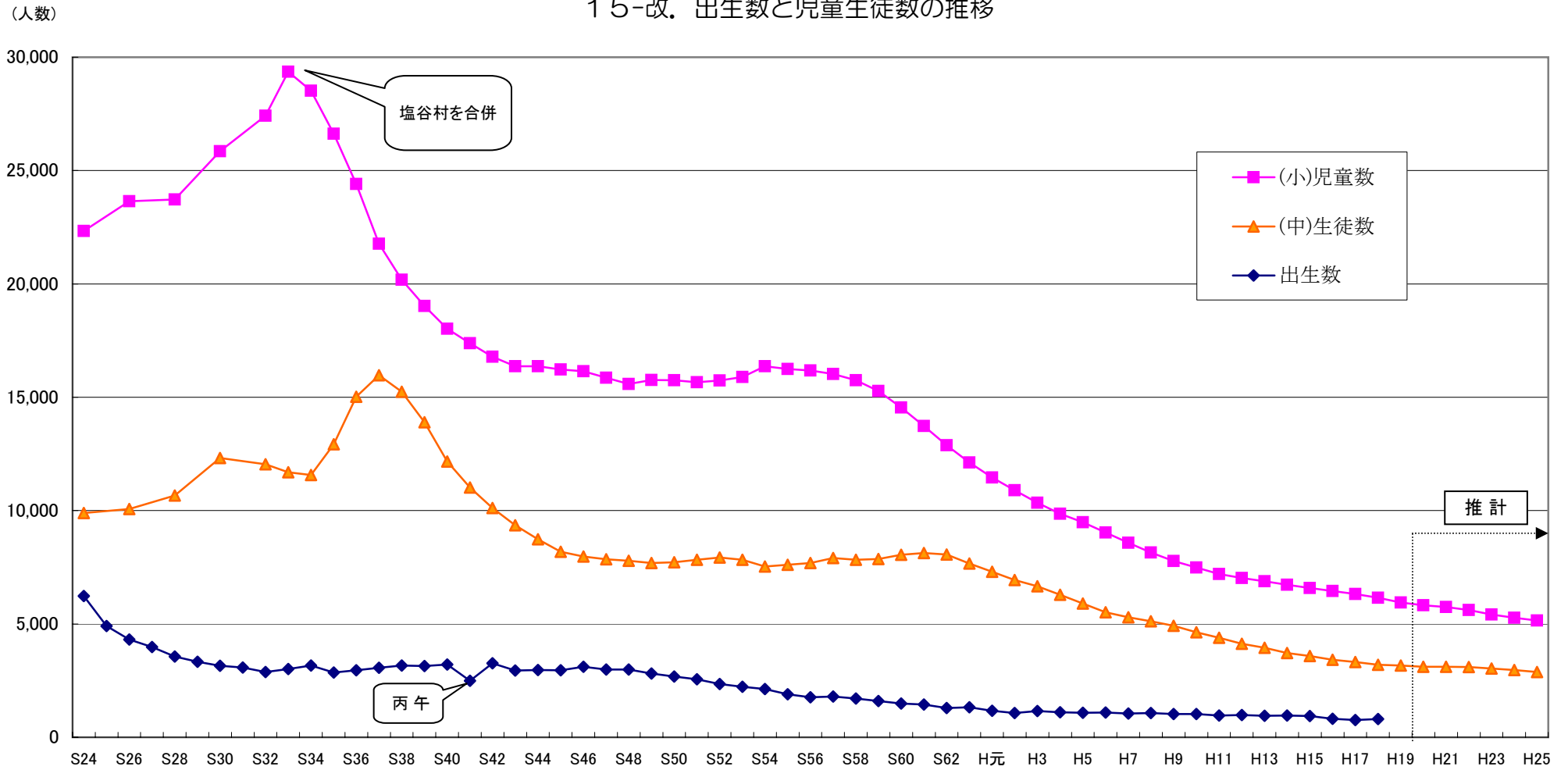
区分 年次	出生数 ※1	出生数増減率 (対前年比)	人 口 ※2	人口増減率 (対前年比)
昭和 24	6,234			
25	4,912	△ 21.21	178,330	
26	4,317	△ 12.11	182,346	2.25
27	3,977	△ 7.88	183,749	0.77
28	3,559	△ 10.51	186,906	1.72
29	3,330	△ 6.43	187,989	0.58
30	3,150	△ 5.41	190,270	1.21
31	3,077	△ 2.32	193,211	1.55
32	2,880	△ 6.40	194,308	0.57
33	3,007	4.41	203,486	4.72 ※3
34	3,163	5.19	204,098	0.30
35	2,852	△ 9.83	204,856	0.37
36	2,956	3.65	205,001	0.07
37	3,063	3.62	205,062	0.03
38	3,165	3.33	206,778	0.84
39	3,148	△ 0.54	207,093	0.15
40	3,212	2.03	206,528	△ 0.27
41	2,495	△ 22.32	205,029	△ 0.73 ※4
42	3,268	30.98	205,876	0.41
43	2,945	△ 9.88	204,955	△ 0.45
44	2,966	0.71	202,028	△ 1.43
45	2,953	△ 0.44	199,904	△ 1.05
46	3,108	5.25	191,808	△ 4.05
47	2,991	△ 3.76	190,016	△ 0.93
48	2,985	△ 0.20	188,967	△ 0.55
49	2,807	△ 5.96	188,043	△ 0.49
50	2,685	△ 4.35	187,719	△ 0.17
51	2,554	△ 4.88	187,432	△ 0.15
52	2,350	△ 7.99	187,155	△ 0.15

区分 年次	出生数 ※1	出生数増減率 (対前年比)	人 口 ※2	人口増減率 (対前年比)
53	2,230	△ 5.11	186,122	△ 0.55
54	2,132	△ 4.39	185,301	△ 0.44
55	1,894	△ 11.16	184,090	△ 0.65
56	1,764	△ 6.86	182,404	△ 0.92
57	1,799	1.98	180,675	△ 0.95
58	1,715	△ 4.67	179,385	△ 0.71
59	1,602	△ 6.59	177,995	△ 0.77
60	1,491	△ 6.93	176,170	△ 1.03
61	1,445	△ 3.09	174,558	△ 0.92
62	1,286	△ 11.00	172,408	△ 1.23
63	1,319	2.57	170,717	△ 0.98
平成 元	1,172	△ 11.14	166,579	△ 2.42
2	1,069	△ 8.79	164,568	△ 1.21
3	1,156	8.14	163,475	△ 0.66
4	1,104	△ 4.50	162,148	△ 0.81
5	1,081	△ 2.08	161,033	△ 0.69
6	1,091	0.93	159,993	△ 0.65
7	1,045	△ 4.22	158,544	△ 0.91
8	1,070	2.39	157,082	△ 0.92
9	1,028	△ 3.93	155,784	△ 0.83
10	1,022	△ 0.58	154,768	△ 0.65
11	959	△ 6.16	153,550	△ 0.79
12	978	1.98	152,063	△ 0.97
13	945	△ 3.37	150,244	△ 1.20
14	957	1.27	148,791	△ 0.97
15	936	△ 2.19	147,124	△ 1.12
16	815	△ 12.93	145,493	△ 1.11
17	756	△ 7.24	143,490	△ 1.38
18	810	7.14	141,322	△ 1.51

※1 出生数は、各年1~12月の出生者数の計(住民基本台帳上の数値(市統計データより))
 ※2 人口は、各年9月末(S25年は10月末)現在(住民基本台帳上の数値(市統計データより))

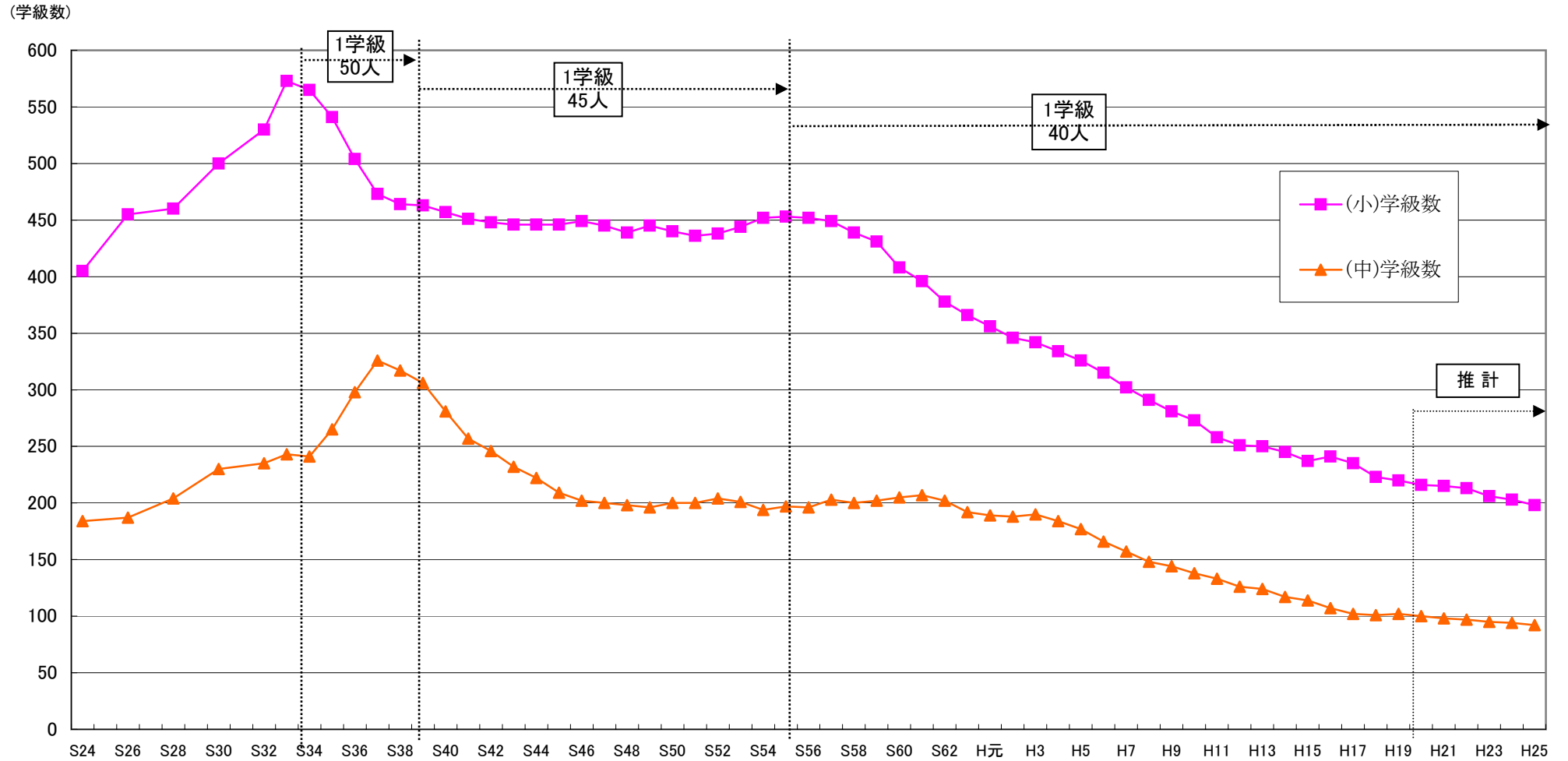
※3 昭和33年4月は、塩谷村を本市へ編入(人口増要素)
 ※4 昭和41年は、丙午(出生数減要素、翌年は反動で出生数増傾向)

15-改. 出生数と児童生徒数の推移



- ※ 出生数は、各年1～12月の出生者数の計(住民基本台帳上の数値(市統計データより))
- ※ 平成20年度以降の児童生徒数は、平成18年度までの出生数に基づく推計値。
- ※ 昭和33年4月は、塩谷村を本市へ編入(人口増要素)
- ※ 昭和33年4月は、小学校3校1,253人(塩谷、桃内、忍路中央)・中学校2校510人(塩谷、忍路)を、塩谷村から本市へ編入(学校数、学級数、児童生徒数の増要素)
- ※ 昭和41年は、丙午(出生数減要素、翌年は反動で出生数増傾向)

16-改. 小中学校学級数の推移



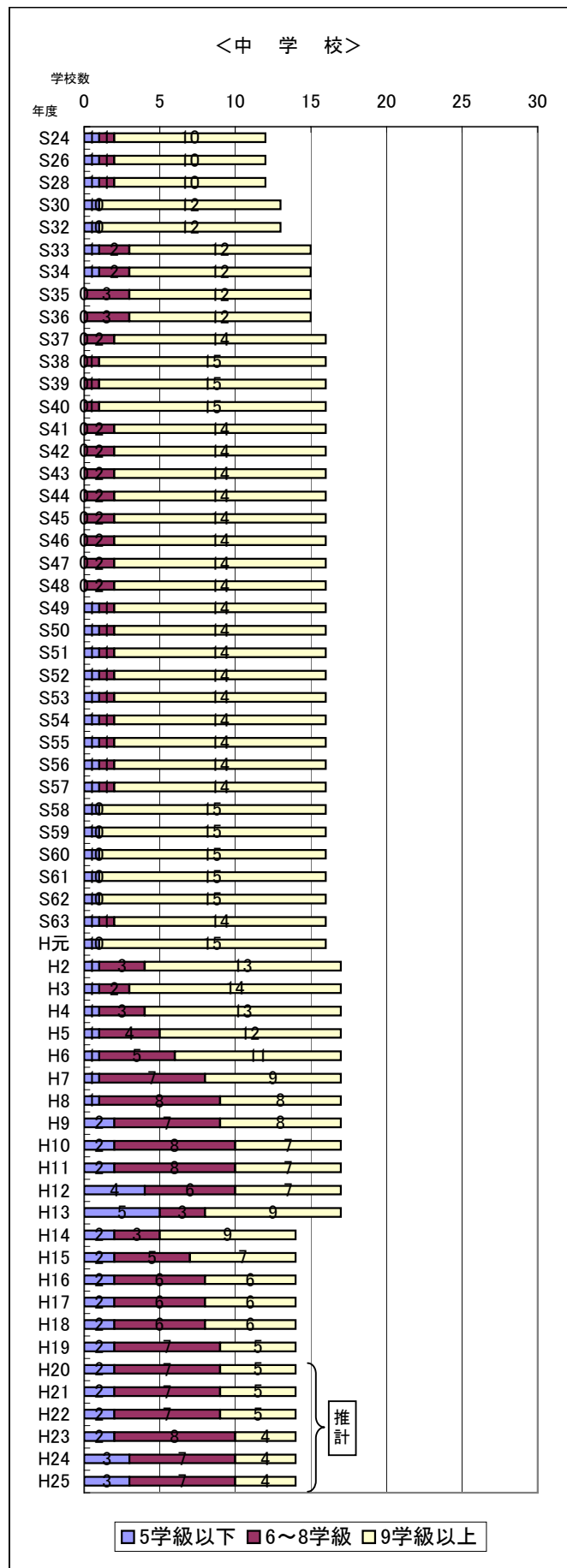
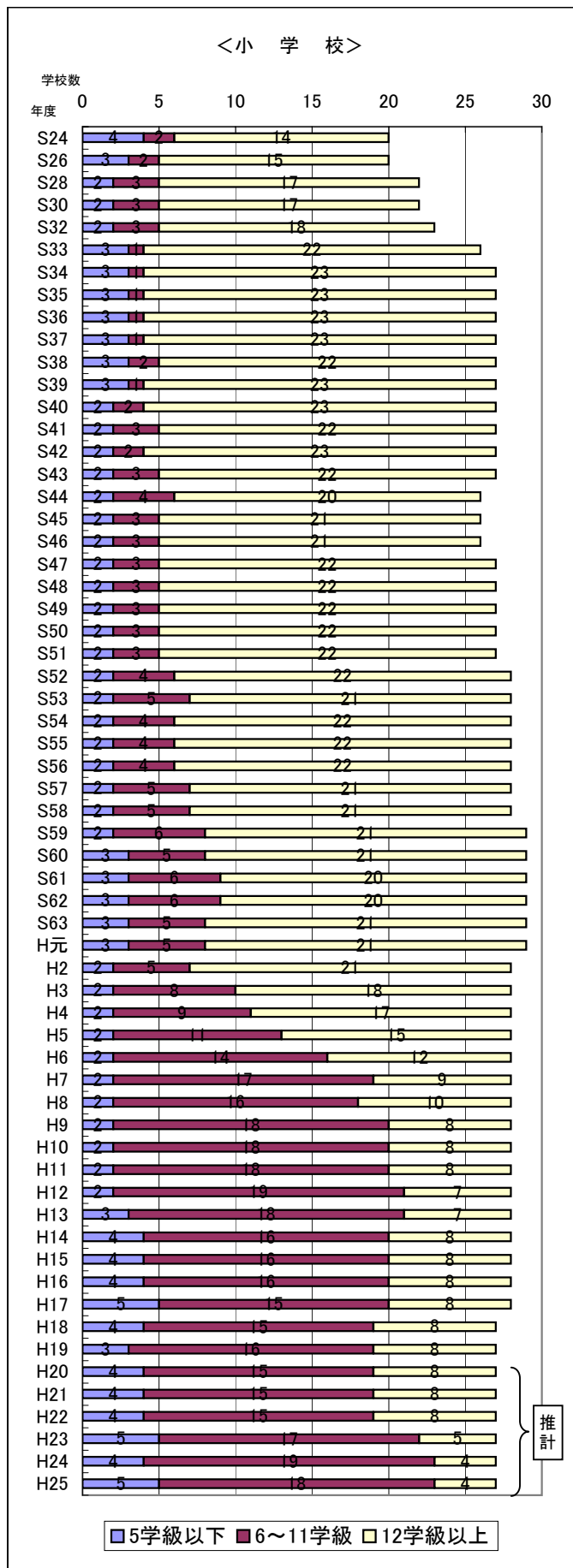
※ 推計値は1学級あたり40人以下とした

※ 国における学級編成上の1学級あたりの児童生徒数は、昭和34年度～38年度は50人以下、39年度～53年度は45人以下、55年度以降は40人以下を標準としている
(標準法制定直前の各県の基準数平均は60人)

※ 昭和33年4月は、小学校3校28学級(塩谷、桃内、忍路中央)・中学校2校13学級(塩谷、忍路)を、塩谷村から本市へ編入(学校数、学級数、児童生徒数の増要素)

※ 平成16年度より北海道においては少人数学級実践研究事業が実施されている

17-改. 学級数規模別学校数の推移



※推計値は1学級あたり40人以下とした

18-改. 学級数規模別学校区分一覧

平成19年度実数 (H19.5.1 現在)				
	5学級以下	6～11	12～18	19学級以上
小 学 校	忍路中央 (4)	塩谷 (6)	高島 (13)	朝里 (20)
	祝津 (3)	北手宮 (6)	幸 (12)	
	豊倉 (5)	手宮西 (6)	長橋 (12)	
		手宮 (6)	稲穂 (12)	
		色内 (6)	桜 (17)	
		花園 (6)	望洋台 (13)	
		緑 (6)	銭函 (12)	
		最上 (7)		
		入船 (6)		
		量徳 (6)		
	奥沢 (6)			
	天神 (6)			
	潮見台 (6)			
	若竹 (6)			
	張碓 (6)			
	桂岡 (6)			
	3校	16校	7校	1校
中 学 校	忍路 (3)	北山 (8)	長橋 (12)	
	塩谷 (3)	末広 (6)		
		西陵 (6)		
		青園 (9)		
		松ヶ枝 (7)		
		向陽 (6)		
		潮見台 (6)		
		桜町 (9)		
		望洋台 (7)		
		朝里 (10)		
	銭函 (10)			
	2校	11校	1校	0

平成25年度推計 (H25.5.1 推計)				
	5学級以下	6～11	12～18	19学級以上
小 学 校	忍路中央 (4)	塩谷 (6)	幸 (12)	
	祝津 (3)	高島 (11) △ 2	稲穂 (12)	
	北手宮 (5) △ 1	長橋 (11) △ 1	桜 (13) △ 4	
	豊倉 (3) △ 2	手宮西 (6)	朝里 (15) △ 5	
	張碓 (4) △ 2	手宮 (6)		
		色内 (7) 1		
		花園 (6)		
		緑 (6)		
		最上 (6) △ 1		
		入船 (6)		
	量徳 (6)			
	奥沢 (6)			
	天神 (6)			
	潮見台 (6)			
	若竹 (6)			
	望洋台 (9) △ 4			
	銭函 (11) △ 1			
	桂岡 (6)			
	5校 (+2)	18校 (+2)	4校 (△3)	0 (△1)
中 学 校	忍路 (3)	長橋 (9) △ 3		
	塩谷 (3)	北山 (7) △ 1		
	向陽 (5) △ 1	末広 (6)		
		西陵 (6)		
		青園 (8) △ 1		
		松ヶ枝 (6) △ 1		
		潮見台 (6)		
		桜町 (9)		
		望洋台 (6) △ 1		
		朝里 (9) △ 1		
	銭函 (9) △ 1			
	3校 (+1)	11校	0 (△1)	0

注 1.特別支援学級を除く
2.推計値は、1学級あたり40人以下とした

は19年度との変更部分

19-改. 平成19年度 学級編制表

平成19年5月1日現在

小学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	学級数
忍路中央	5	1	5	1	5	1	5	(1)	5	1	3	(1)	28	(1) 4
塩谷	20	1	(1) 26	1	21	1	28	1	(1) 24	1	21	1	(2) 140	(1) 6
祝津	1	1	3		2	1	4		6	1	6		22	3
高島	63	2	54	2	(1) 77	2	(2) 69	2	82	3	73	2	(3) 418	(3) 13
幸	49	2	61	2	43	2	54	2	54	2	58	2	319	12
長橋	65	2	55	2	(1) 64	2	(1) 66	2	(1) 64	2	50	2	(3) 364	(2) 12
北手宮	(2) 6	1	3	1	15	1	9	1	11	1	10	1	(2) 54	(2) 6
手宮西	21	1	23	1	24	1	24	1	23	1	25	1	140	6
手宮	15	1	22	1	24	1	27	1	18	1	26	1	132	6
色内	21	1	20	1	(1) 22	1	30	1	(2) 28	1	(1) 28	1	(4) 149	(2) 6
稲穂	53	2	60	2	(1) 50	2	(1) 56	2	60	2	(1) 54	2	(3) 333	(2) 12
花園	32	1	(1) 27	1	23	1	(3) 37	1	31	1	39	1	(4) 189	(3) 6
緑	39	1	(2) 28	1	(1) 25	1	38	1	37	1	37	1	(3) 204	(2) 6
最上	38	1	39	1	48	2	32	1	37	1	33	1	227	7
入船	29	1	35	1	(1) 24	1	30	1	(2) 27	1	(1) 33	1	(4) 178	(2) 6
量徳	24	1	30	1	28	1	24	1	24	1	(1) 38	1	(1) 168	(1) 6
奥沢	20	1	(1) 19	1	22	1	23	1	25	1	31	1	(1) 140	(1) 6
天神	32	1	25	1	(2) 36	1	(1) 37	1	32	1	(1) 40	1	(4) 202	(3) 6
潮見台	21	1	36	1	24	1	28	1	22	1	35	1	166	6
若竹	(1) 29	1	26	1	(1) 23	1	20	1	20	1	18	1	(2) 136	(2) 6
桜	89	3	(1) 81	3	(2) 82	3	92	3	93	3	79	2	(3) 516	(3) 17
望洋台	(1) 63	2	78	3	(1) 77	2	74	2	67	2	(1) 66	2	(3) 425	(2) 13
豊倉	3	1	6	1	6	1	7		12	1	7	1	41	5
朝里	101	3	91	3	(1) 102	3	(1) 123	4	(1) 102	3	(3) 139	4	(6) 658	(4) 20
張碓	15	1	(1) 6	1	13	1	(1) 11	1	8	1	(1) 10	1	(3) 63	(1) 6
桂岡	23	1	20	1	24	1	(1) 15	1	23	1	20	1	(1) 125	(1) 6
銭函	68	2	(1) 63	2	68	2	75	2	72	2	(1) 59	2	(2) 405	(1) 12
計	(4) 945	37	(8) 942	37	(13) 972	38	(11) 1,038	35	(8) 1,007	38	(11) 1,038	35	(55) 5,942	(39) 220
中学校名	1年生		2年生		3年生								合計	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級							生徒数	学級数
忍路	7	1	6	1	6	1							19	3
塩谷	20	1	24	1	38	1							82	3
長橋	133	4	(2) 127	4	121	4							(2) 381	(1) 12
北山	(1) 82	3	71	2	(2) 89	3							(3) 242	(3) 8
末広	(1) 58	2	76	2	78	2							(1) 212	(1) 6
西陵	62	2	63	2	58	2							183	6
菁園	(7) 98	3	(6) 96	3	(3) 102	3							(16) 296	(5) 9
松ヶ枝	69	2	(1) 72	2	90	3							(1) 231	(1) 7
向陽	(1) 65	2	(1) 63	2	(1) 68	2							(3) 196	(2) 6
潮見台	(1) 57	2	65	2	62	2							(1) 184	(1) 6
桜町	86	3	(1) 94	3	113	3							(1) 293	(1) 9
望洋台	73	3	(1) 60	2	(1) 64	2							(2) 197	(2) 7
朝里	(2) 135	4	(1) 96	3	(1) 104	3							(4) 335	(2) 10
銭函	(2) 109	4	101	3	(2) 100	3							(4) 310	(3) 10
計	(15) 1,054	36	(13) 1,014	32	(10) 1,093	34							(38) 3,161	(22) 102
小中計													(93) 9,103	(61) 322

※()は特別支援学級外数

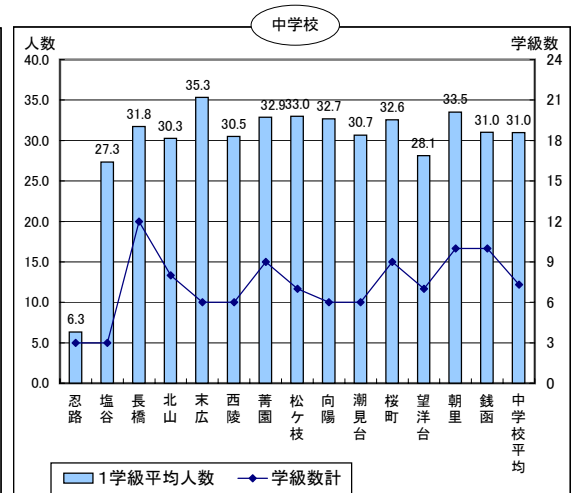
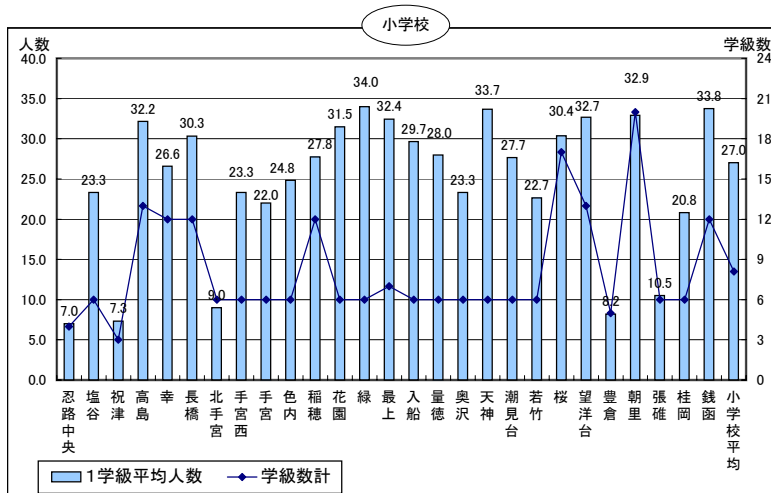
20-改.学校別 1学級あたりの平均児童生徒数（平成19年度 普通学級）

平成19

小学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計		1学級あたりの平均児童数
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	
忍路中央	5	1	5	1	5	1	5	0	5	1	3	0	28	4	7.0
塩谷	20	1	26	1	21	1	28	1	24	1	21	1	140	6	23.3
祝津	1	1	3	0	2	1	4	0	6	1	6	0	22	3	7.3
高島	63	2	54	2	77	2	69	2	82	3	73	2	418	13	32.2
幸	49	2	61	2	43	2	54	2	54	2	58	2	319	12	26.6
長橋	65	2	55	2	64	2	66	2	64	2	50	2	364	12	30.3
北手宮	6	1	3	1	15	1	9	1	11	1	10	1	54	6	9.0
手宮西	21	1	23	1	24	1	24	1	23	1	25	1	140	6	23.3
手宮	15	1	22	1	24	1	27	1	18	1	26	1	132	6	22.0
色内	21	1	20	1	22	1	30	1	28	1	28	1	149	6	24.8
稲穂	53	2	60	2	50	2	56	2	60	2	54	2	333	12	27.8
花園	32	1	27	1	23	1	37	1	31	1	39	1	189	6	31.5
緑	39	1	28	1	25	1	38	1	37	1	37	1	204	6	34.0
最上	38	1	39	1	48	2	32	1	37	1	33	1	227	7	32.4
入船	29	1	35	1	24	1	30	1	27	1	33	1	178	6	29.7
量徳	24	1	30	1	28	1	24	1	24	1	38	1	168	6	28.0
奥沢	20	1	19	1	22	1	23	1	25	1	31	1	140	6	23.3
天神	32	1	25	1	36	1	37	1	32	1	40	1	202	6	33.7
潮見台	21	1	36	1	24	1	28	1	22	1	35	1	166	6	27.7
若竹	29	1	26	1	23	1	20	1	20	1	18	1	136	6	22.7
桜	89	3	81	3	82	3	92	3	93	3	79	2	516	17	30.4
望洋台	63	2	78	3	77	2	74	2	67	2	66	2	425	13	32.7
豊倉	3	1	6	1	6	1	7	0	12	1	7	1	41	5	8.2
朝里	101	3	91	3	102	3	123	4	102	3	139	4	658	20	32.9
張碓	15	1	6	1	13	1	11	1	8	1	10	1	63	6	10.5
桂岡	23	1	20	1	24	1	15	1	23	1	20	1	125	6	20.8
銭函	68	2	63	2	68	2	75	2	72	2	59	2	405	12	33.8
小学校計	945	37	942	37	972	38	1,038	35	1,007	38	1,038	35	5,942	220	27.0

中学校名	1年生		2年生		3年生		合計		1学級あたりの平均生徒数
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	
忍路	7	1	6	1	6	1	19	3	6.3
塩谷	20	1	24	1	38	1	82	3	27.3
長橋	133	4	127	4	121	4	381	12	31.8
北山	82	3	71	2	89	3	242	8	30.3
末広	58	2	76	2	78	2	212	6	35.3
西陵	62	2	63	2	58	2	183	6	30.5
菁園	98	3	96	3	102	3	296	9	32.9
松ヶ枝	69	2	72	2	90	3	231	7	33.0
向陽	65	2	63	2	68	2	196	6	32.7
潮見台	57	2	65	2	62	2	184	6	30.7
桜町	86	3	94	3	113	3	293	9	32.6
望洋台	73	3	60	2	64	2	197	7	28.1
朝里	135	4	96	3	104	3	335	10	33.5
銭函	109	4	101	3	100	3	310	10	31.0
中学校計	1,054	36	1,014	32	1,093	34	3,161	102	31.0

※ 平均は小数点以下第二位を四捨五入



21-改. 学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計 (H20~H25 普通学級)

平成19年5月1日現在

小学校名	参考:平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	5	1	6	1	3	1	6	1	7	1	4	1	5	1
塩谷	20	1	22	1	24	1	23	1	12	1	16	1	17	1
祝津	1	1	1	1	3	1	5	1	3	1	5	1	3	1
高島	63	2	64	2	65	2	53	2	40	1	52	2	41	2
幸	49	2	55	2	55	2	52	2	45	2	42	2	43	2
長橋	65	2	57	2	70	2	66	2	31	1	46	2	43	2
北手宮	6	1	11	1	11	1	13	1	5	1	10	1	4	1
手宮西	21	1	16	1	21	1	25	1	16	1	26	1	15	1
手宮	15	1	20	1	15	1	24	1	15	1	24	1	14	1
色内	21	1	26	1	38	1	33	1	34	1	22	1	43	2
稲穂	53	2	47	2	54	2	57	2	50	2	47	2	57	2
花園	32	1	24	1	37	1	27	1	34	1	30	1	26	1
緑	39	1	38	1	33	1	29	1	32	1	39	1	34	1
最上	38	1	37	1	36	1	31	1	33	1	35	1	36	1
入船	29	1	34	1	27	1	36	1	33	1	30	1	37	1
量徳	24	1	24	1	34	1	20	1	23	1	26	1	25	1
奥沢	20	1	26	1	24	1	22	1	39	1	23	1	24	1
天神	32	1	33	1	31	1	29	1	24	1	31	1	27	1
潮見台	21	1	28	1	30	1	29	1	29	1	21	1	24	1
若竹	29	1	27	1	22	1	21	1	18	1	20	1	24	1
桜	89	3	79	2	81	3	80	2	68	2	74	2	73	2
望洋台	63	2	62	2	48	2	49	2	37	1	31	1	39	1
豊倉	3	1	7	1	4	1	6	1	6	1	4	1	2	1
朝里	101	3	88	3	93	3	86	3	80	2	74	2	73	2
張碓	15	1	10	1	10	1	5	1	7	1	8	1	7	1
桂岡	23	1	14	1	15	1	19	1	13	1	32	1	32	1
銭函	68	2	62	2	52	2	55	2	43	2	24	1	56	2
計	945	37	918	36	936	37	901	36	777	32	796	33	824	35
中学校名	参考:平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	7	1	3	1	5	1	6	1	7	1	6	1	5	1
塩谷	20	1	23	1	27	1	32	1	22	1	26	1	21	1
長橋	133	4	106	3	119	3	116	3	105	3	117	3	108	3
北山	82	3	81	3	80	2	71	2	85	3	55	2	65	2
末広	58	2	61	2	62	2	65	2	56	2	53	2	44	2
西陵	62	2	72	2	72	2	82	3	72	2	65	2	75	2
菁園	98	3	92	3	90	3	83	3	65	2	98	3	83	3
松ヶ枝	69	2	84	3	74	2	72	2	78	2	70	2	74	2
向陽	65	2	61	2	48	2	52	2	49	2	38	1	46	2
潮見台	57	2	71	2	48	2	55	2	56	2	61	2	43	2
桜町	86	3	90	3	103	3	105	3	95	3	94	3	107	3
望洋台	73	3	60	2	65	2	72	2	76	2	79	2	63	2
朝里	135	4	149	4	115	3	132	4	107	3	98	3	106	3
銭函	109	4	90	3	104	3	101	3	106	3	89	3	106	3
計	1,054	36	1,043	34	1,012	31	1,044	33	979	31	949	30	946	31
小中計	1,999	73	1,961	70	1,948	68	1,945	69	1,756	63	1,745	63	1,770	66

※ 平成19年度は参考値(H19.5.1時点の新1年生実数)

22-改. 学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計
(H20~H25、普通学級、平成19年度北海道少人数学級実践研究事業適用)

平成19年5月1日現在

小学校名	参考:平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	5	1	6	1	3	1	6	1	7	1	4	1	5	1
塩谷	20	1	22	1	24	1	23	1	12	1	16	1	17	1
祝津	1	1	1	1	3	1	5	1	3	1	5	1	3	1
高島	63	2	64	2	65	2	53	2	40	1	52	2	41	2
幸	49	2	55	2	55	2	52	2	45	2	42	2	43	2
長橋	65	2	57	2	70	2	66	2	31	1	46	2	43	2
北手宮	6	1	11	1	11	1	13	1	5	1	10	1	4	1
手宮西	21	1	16	1	21	1	25	1	16	1	26	1	15	1
手宮	15	1	20	1	15	1	24	1	15	1	24	1	14	1
色内	21	1	26	1	38	1	33	1	34	1	22	1	43	2
稲穂	53	2	47	2	54	2	57	2	50	2	47	2	57	2
花園	32	1	24	1	37	1	27	1	34	1	30	1	26	1
緑	39	1	38	1	33	1	29	1	32	1	39	1	34	1
最上	38	1	37	1	36	1	31	1	33	1	35	1	36	1
入船	29	1	34	1	27	1	36	1	33	1	30	1	37	1
量徳	24	1	24	1	34	1	20	1	23	1	26	1	25	1
奥沢	20	1	26	1	24	1	22	1	39	1	23	1	24	1
天神	32	1	33	1	31	1	29	1	24	1	31	1	27	1
潮見台	21	1	28	1	30	1	29	1	29	1	21	1	24	1
若竹	29	1	27	1	22	1	21	1	18	1	20	1	24	1
桜	89	3	79	3	81	3	80	3	68	2	74	3	73	3
望洋台	63	2	62	2	48	2	49	2	37	1	31	1	39	1
豊倉	3	1	7	1	4	1	6	1	6	1	4	1	2	1
朝里	101	3	88	3	93	3	86	3	80	3	74	3	73	3
張碓	15	1	10	1	10	1	5	1	7	1	8	1	7	1
桂岡	23	1	14	1	15	1	19	1	13	1	32	1	32	1
銭函	68	2	62	2	52	2	55	2	43	2	24	1	56	2
計	945	37	918	37	936	37	901	37	777	33	796	35	824	37
中学校名	参考:平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	7	1	3	1	5	1	6	1	7	1	6	1	5	1
塩谷	20	1	23	1	27	1	32	1	22	1	26	1	21	1
長橋	133	4	106	4	119	4	116	4	105	3	117	4	108	4
北山	82	3	81	3	80	3	71	3	85	3	55	2	65	2
末広	58	2	61	2	62	2	65	2	56	2	53	2	44	2
西陵	62	2	72	3	72	3	82	3	72	3	65	2	75	3
菁園	98	3	92	3	90	3	83	3	65	2	98	3	83	3
松ヶ枝	69	2	84	3	74	3	72	3	78	3	70	2	74	3
向陽	65	2	61	2	48	2	52	2	49	2	38	1	46	2
潮見台	57	2	71	3	48	2	55	2	56	2	61	2	43	2
桜町	86	3	90	3	103	3	105	3	95	3	94	3	107	4
望洋台	73	3	60	2	65	2	72	3	76	3	79	3	63	2
朝里	135	4	149	5	115	4	132	4	107	4	98	3	106	4
銭函	109	4	90	3	104	3	101	3	106	4	89	3	106	4
計	1,054	36	1,043	38	1,012	36	1,044	37	979	36	949	32	946	37
小中計	1,999	73	1,961	75	1,948	73	1,945	74	1,756	69	1,745	67	1,770	74

※ 平成19年度は参考値(H19.5.1時点の新1年生実数)

※ は少人数学級実践研究事業該当

23-改. 学校別 児童生徒数・学級数推計（H20～H25 普通学級）

平成19年5月1日現在

小学校名	参考：平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	28	4	31	4	29	4	30	4	32	4	31	4	31	4
塩谷	140	6	141	6	141	6	136	6	127	6	117	6	114	6
祝津	22	3	17	3	14	3	15	3	16	3	18	3	20	3
高島	418	13	409	13	392	12	376	12	339	11	337	11	315	11
幸	319	12	316	12	317	12	315	12	317	12	298	12	292	12
長橋	364	12	371	12	377	12	377	12	344	11	335	11	313	11
北手宮	54	6	55	5	55	5	59	5	49	5	56	6	54	5
手宮西	140	6	131	6	129	6	130	6	122	6	125	6	119	6
手宮	132	6	126	6	123	6	120	6	111	6	113	6	112	6
色内	149	6	147	6	157	6	160	6	172	6	174	6	196	7
稲穂	333	12	326	12	320	12	321	12	321	12	308	12	312	12
花園	189	6	174	6	180	6	170	6	181	6	184	6	178	6
緑	204	6	205	6	201	6	192	6	199	6	210	6	205	6
最上	227	7	231	7	230	7	229	7	214	6	210	6	208	6
入船	178	6	179	6	179	6	185	6	194	6	189	6	197	6
量徳	168	6	154	6	164	6	160	6	155	6	151	6	152	6
奥沢	140	6	135	6	134	6	133	6	150	6	154	6	158	6
天神	202	6	195	6	194	6	186	6	174	6	180	6	175	6
潮見台	166	6	159	6	167	6	168	6	173	6	158	6	161	6
若竹	136	6	145	6	147	6	148	6	143	6	137	6	132	6
桜	516	17	516	17	504	17	492	16	478	15	471	14	455	13
望洋台	425	13	421	12	402	12	377	12	337	11	290	10	266	9
豊倉	41	5	41	4	33	4	32	4	32	4	30	4	29	3
朝里	658	20	607	19	598	19	561	18	539	17	522	16	494	15
張碓	63	6	63	6	65	6	59	6	53	5	55	5	47	4
桂岡	125	6	119	6	111	6	115	6	104	6	116	6	125	6
銭函	405	12	408	12	388	12	368	12	343	12	304	11	292	11
計	5,942	220	5,822	216	5,751	215	5,614	213	5,419	206	5,273	203	5,152	198
中学校名	参考：平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	19	3	16	3	15	2	14	2	18	3	19	3	18	3
塩谷	82	3	67	3	70	3	82	3	81	3	80	3	69	3
長橋	381	12	366	11	358	10	341	9	340	9	338	9	330	9
北山	242	8	234	8	243	8	232	7	236	7	211	7	205	7
末広	212	6	195	6	181	6	188	6	183	6	174	6	153	6
西陵	183	6	197	6	206	6	226	7	226	7	219	7	212	6
青園	296	9	286	9	280	9	265	9	238	8	246	8	246	8
松ヶ枝	231	7	225	7	227	7	230	7	224	6	220	6	222	6
向陽	196	6	189	6	174	6	161	6	149	6	139	5	133	5
潮見台	184	6	193	6	176	6	174	6	159	6	172	6	160	6
桜町	293	9	270	9	279	9	298	9	303	9	294	9	296	9
望洋台	197	7	193	6	198	6	197	6	213	6	227	6	218	6
朝里	335	10	380	11	399	11	396	11	354	10	337	10	311	9
銭函	310	10	300	9	303	9	295	9	311	9	296	9	301	9
計	3,161	102	3,111	100	3,109	98	3,099	97	3,035	95	2,972	94	2,874	92
小中計	9,103	322	8,933	316	8,860	313	8,713	310	8,454	301	8,245	297	8,026	290

※ 平成19年度は参考値(H19.5.1時点の実数)

24-改. 学校別 児童生徒数・学級数推計 (H20~H25、普通学級、平成19年度北海道少人数学級実践研究事業適用)

平成19年5月1日現在

小学校名	参考:平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	28	4	31	4	29	4	30	4	32	4	31	4	31	4
塩谷	140	6	141	6	141	6	136	6	127	6	117	6	114	6
祝津	22	3	17	3	14	3	15	3	16	3	18	3	20	3
高島	418	13	409	13	392	12	376	12	339	11	337	11	315	11
幸	319	12	316	12	317	12	315	12	317	12	298	12	292	12
長橋	364	12	371	12	377	12	377	12	344	11	335	11	313	11
北手宮	54	6	55	5	55	5	59	5	49	5	56	6	54	5
手宮西	140	6	131	6	129	6	130	6	122	6	125	6	119	6
手宮	132	6	126	6	123	6	120	6	111	6	113	6	112	6
色内	149	6	147	6	157	6	160	6	172	6	174	6	196	7
稲穂	333	12	326	12	320	12	321	12	321	12	308	12	312	12
花園	189	6	174	6	180	6	170	6	181	6	184	6	178	6
緑	204	6	205	6	201	6	192	6	199	6	210	6	205	6
最上	227	7	231	7	230	7	229	7	214	6	210	6	208	6
入船	178	6	179	6	179	6	185	6	194	6	189	6	197	6
量徳	168	6	154	6	164	6	160	6	155	6	151	6	152	6
奥沢	140	6	135	6	134	6	133	6	150	6	154	6	158	6
天神	202	6	195	6	194	6	186	6	174	6	180	6	175	6
潮見台	166	6	159	6	167	6	168	6	173	6	158	6	161	6
若竹	136	6	145	6	147	6	148	6	143	6	137	6	132	6
桜	516	17	516	18	504	18	492	17	478	16	471	15	455	15
望洋台	425	13	421	12	402	12	377	12	337	11	290	10	266	9
豊倉	41	5	41	4	33	4	32	4	32	4	30	4	29	3
朝里	658	20	607	19	598	19	561	18	539	18	522	18	494	17
張碓	63	6	63	6	65	6	59	6	53	5	55	5	47	4
桂岡	125	6	119	6	111	6	115	6	104	6	116	6	125	6
銭函	405	12	408	12	388	12	368	12	343	12	304	11	292	11
計	5,942	220	5,822	217	5,751	216	5,614	214	5,419	208	5,273	206	5,152	202
中学校名	参考:平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	19	3	16	3	15	2	14	2	18	3	19	3	18	3
塩谷	82	3	67	3	70	3	82	3	81	3	80	3	69	3
長橋	381	12	366	12	358	11	341	10	340	9	338	10	330	10
北山	242	8	234	8	243	9	232	8	236	7	211	7	205	7
末広	212	6	195	6	181	6	188	6	183	6	174	6	153	6
西陵	183	6	197	7	206	7	226	7	226	8	219	7	212	7
菁園	296	9	286	9	280	9	265	9	238	8	246	8	246	8
松ヶ枝	231	7	225	7	227	8	230	8	224	7	220	6	222	7
向陽	196	6	189	6	174	6	161	6	149	6	139	5	133	5
潮見台	184	6	193	7	176	6	174	6	159	6	172	6	160	6
桜町	293	9	270	9	279	9	298	9	303	9	294	9	296	10
望洋台	197	7	193	6	198	6	197	7	213	7	227	7	218	6
朝里	335	10	380	12	399	12	396	11	354	11	337	10	311	10
銭函	310	10	300	9	303	9	295	9	311	10	296	9	301	10
計	3,161	102	3,111	104	3,109	103	3,099	101	3,035	100	2,972	96	2,874	98
小中計	9,103	322	8,933	321	8,860	319	8,713	315	8,454	308	8,245	302	8,026	300

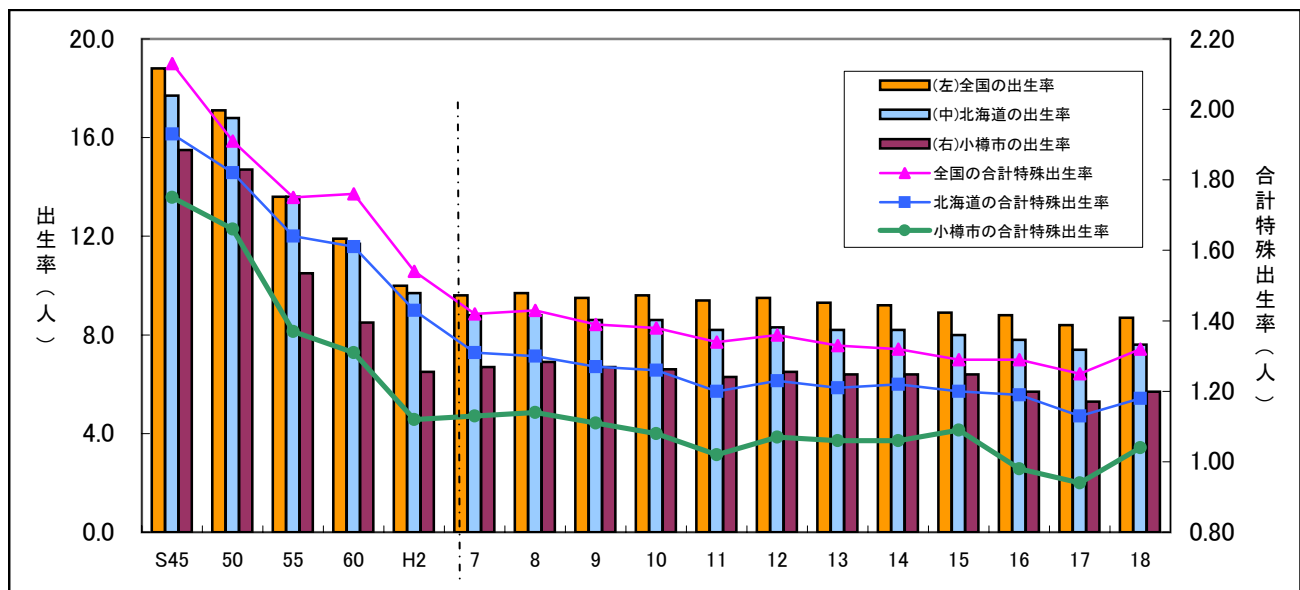
※ 平成19年度は参考値(H19.5.1時点の実数)

※ は少人数学級実践研究事業該当

25-改. 出生率及び合計特殊出生率の推移

(人)

年次	出生率(人口千対)			合計特殊出生率		
	全国	北海道	小樽市	全国	北海道	小樽市
昭和 25	28.1	34.2	27.5			
30	19.4	21.7	16.6			
35	17.2	18.6	15.4			
40	18.6	18.7	16.4			
45	18.8	17.7	15.5	2.13	1.93	1.75
50	17.1	16.8	14.7	1.91	1.82	1.66
55	13.6	13.6	10.5	1.75	1.64	1.37
60	11.9	11.7	8.5	1.76	1.61	1.31
61	11.4	11.3	8.5			
62	11.1	10.8	7.6			
63	10.8	10.5	7.9			
平成 元	10.2	9.8	7.2			
2	10.0	9.7	6.5	1.54	1.43	1.12
3	9.9	9.6	7.1			
4	9.8	9.4	6.8			
5	9.6	9.0	6.8			
6	10.0	9.3	6.9			
7	9.6	8.8	6.7	1.42	1.31	1.13
8	9.7	8.8	6.9	1.43	1.30	1.14
9	9.5	8.6	6.7	1.39	1.27	1.11
10	9.6	8.6	6.6	1.38	1.26	1.08
11	9.4	8.2	6.3	1.34	1.20	1.02
12	9.5	8.3	6.5	1.36	1.23	1.07
13	9.3	8.2	6.4	1.33	1.21	1.06
14	9.2	8.2	6.4	1.32	1.22	1.06
15	8.9	8.0	6.4	1.29	1.20	1.09
16	8.8	7.8	5.7	1.29	1.19	0.98
17	8.4	7.4	5.3	1.26	1.15	0.94
18(6/6概数)	8.7	7.6	5.7	1.32	1.18	1.04



※ 出生率: 人口千人あたりの1年間の出生者数

※ 合計特殊出生率: 一般的に、生産年齢(15歳~49歳)にあたる女性の、年齢ごとの出生率を合計したもの(「期間合計特殊出生率」)をいう。1人の女性が生涯に生む子供の平均人数を推計する値として使われ、総人口の維持には2.07~2.08程度が必要とされている。国際的にも人口動態の指標として広く使われており、数値は次の算式により求められる。

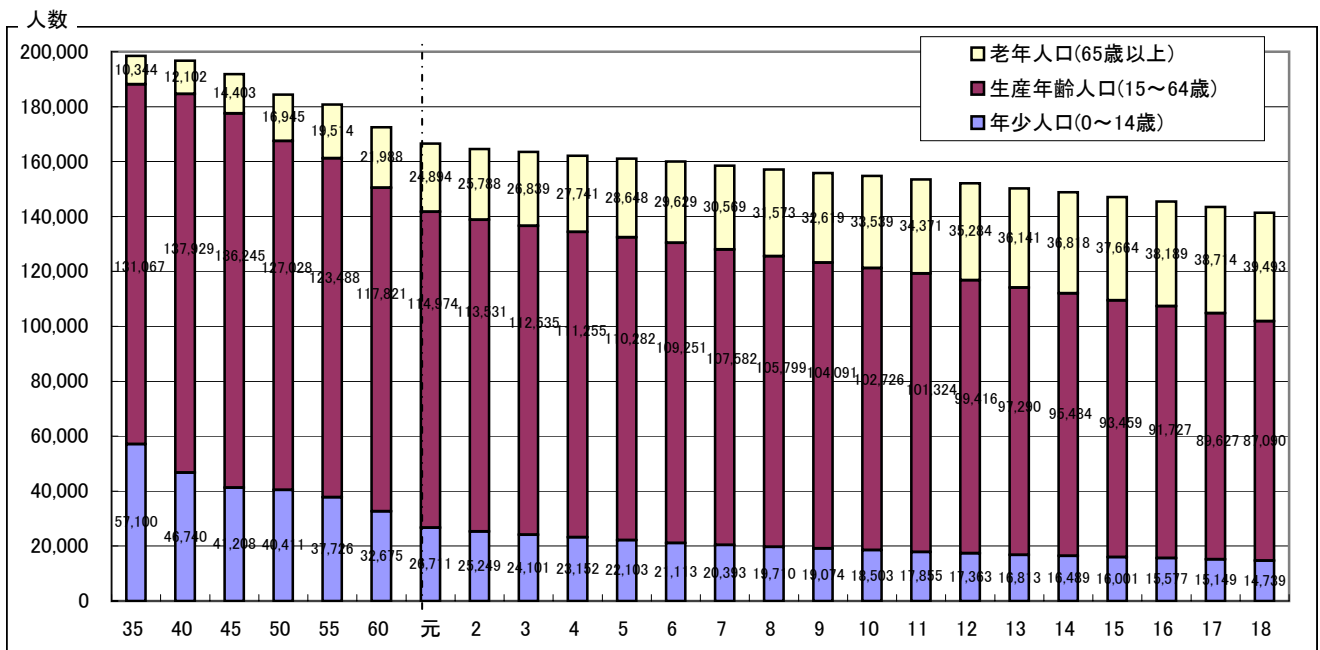
合計特殊出生率 = (母の年齢別出生数 / 当該年齢別女子人口) …… これを、15歳~49歳まで合計したもの

※ 各データは、保健所統計資料(「小樽市の保健行政」)より

(小樽市統計書のデータとは、把握時点に若干のずれがあるため一致しない)

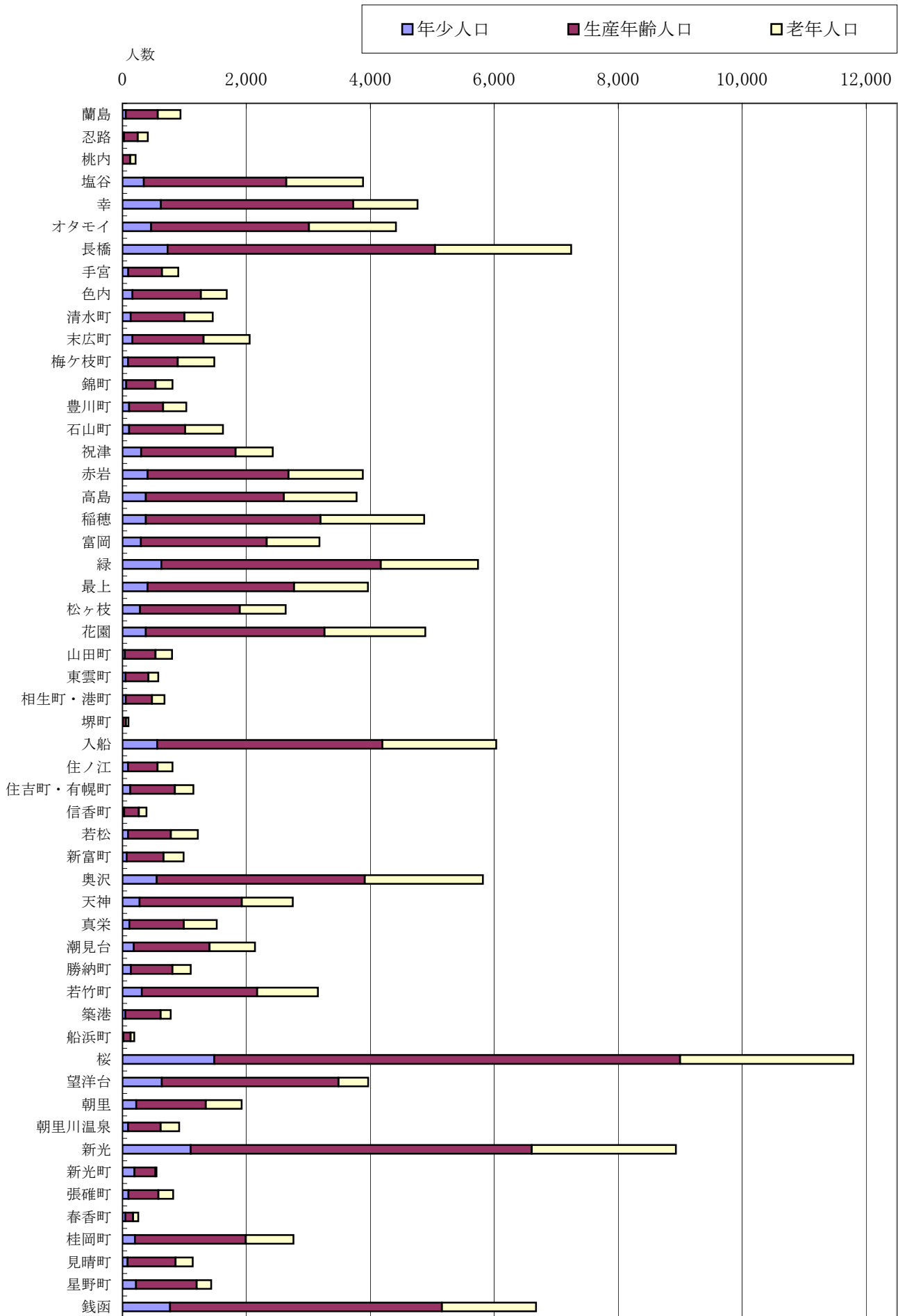
26-改. 小樽市の3区分人口（年少、生産年齢、老年）の推移

区分年次	人 数(人)				比 率(%)		
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	総 計	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
35	57,100	131,067	10,344	198,511	28.8	66.0	5.2
40	46,740	137,929	12,102	196,771	23.8	70.1	6.1
45	41,208	136,245	14,403	191,856	21.5	71.0	7.5
50	40,411	127,028	16,945	184,384	21.9	68.9	9.2
55	37,726	123,488	19,514	180,728	20.9	68.3	10.8
60	32,675	117,821	21,988	172,484	18.9	68.3	12.8
元	26,711	114,974	24,894	166,579	16.0	69.0	15.0
2	25,249	113,531	25,788	164,568	15.3	69.0	15.7
3	24,101	112,535	26,839	163,475	14.8	68.8	16.4
4	23,152	111,255	27,741	162,148	14.3	68.6	17.1
5	22,103	110,282	28,648	161,033	13.7	68.5	17.8
6	21,113	109,251	29,629	159,993	13.2	68.3	18.5
7	20,393	107,582	30,569	158,544	12.9	67.8	19.3
8	19,710	105,799	31,573	157,082	12.5	67.4	20.1
9	19,074	104,091	32,619	155,784	12.3	66.8	20.9
10	18,503	102,726	33,539	154,768	11.9	66.4	21.7
11	17,855	101,324	34,371	153,550	11.6	66.0	22.4
12	17,363	99,416	35,284	152,063	11.4	65.4	23.2
13	16,813	97,290	36,141	150,244	11.2	64.7	24.1
14	16,489	95,484	36,818	148,791	11.1	64.2	24.7
15	16,001	93,459	37,664	147,124	10.9	63.5	25.6
16	15,577	91,727	38,189	145,493	10.7	63.0	26.3
17	15,149	89,627	38,714	143,490	10.5	62.5	27.0
18	14,739	87,090	39,493	141,322	10.4	61.6	28.0



※昭和60年以前は国勢調査(各年10月1日現在)、平成元年以降は住民基本台帳(各年9月末現在)による。※昭和50年は年齢不詳22名を除く。

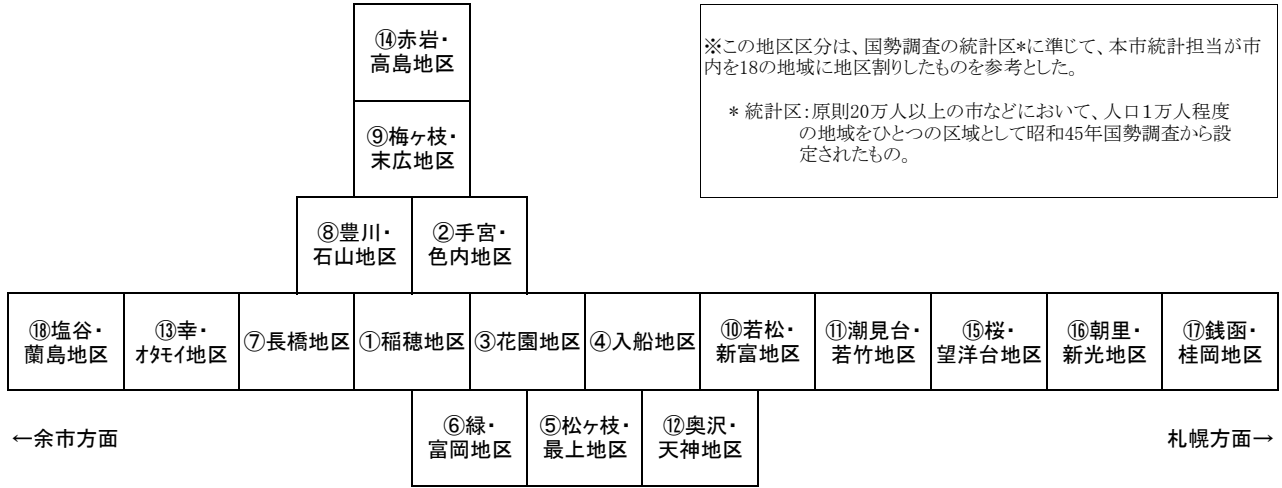
27-改. 平成19年6月末 町別3区分人口



※平成19年6月末現在の住民基本台帳人口による

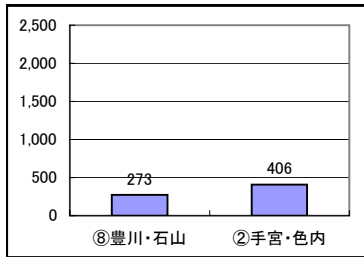
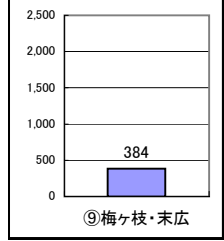
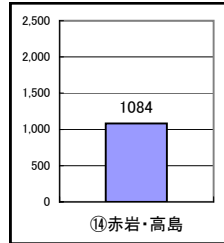
28-改. 平成19年6月末 小樽市内の地区別 年少人口の分布

※年少人口:0歳~14歳

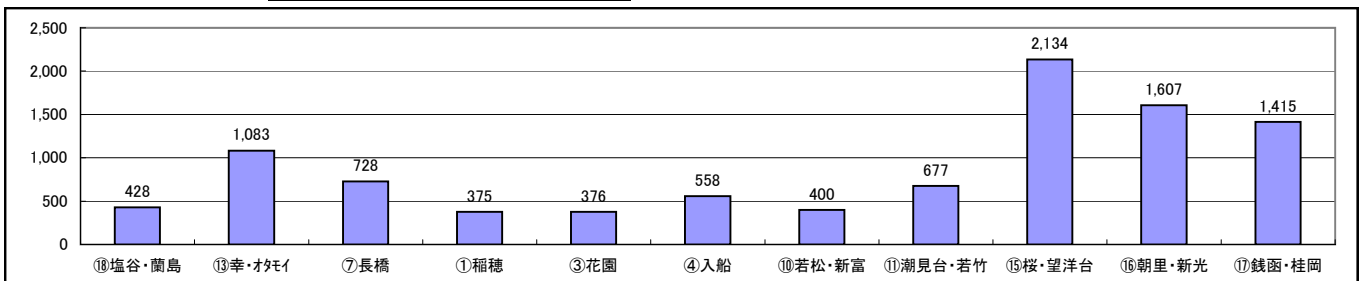


※この地区区分は、国勢調査の統計区*に準じて、本市統計担当が市内を18の地域に地区割りしたものを参考とした。

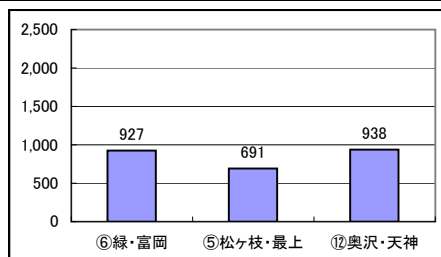
*統計区:原則20万人以上の市などにおいて、人口1万人程度の地域をひとつの区域として昭和45年国勢調査から設定されたもの。



地区	町別
①稲穂地区	稲穂
②手宮・色内地区	手宮・色内・山田町・東雲町・塚町・相生町・港町
③花園地区	花園
④入船地区	入船
⑤松ヶ枝・最上地区	松ヶ枝・最上・天狗山
⑥緑・富岡地区	緑・富岡・旭町
⑦長橋地区	長橋
⑧豊川・石山地区	豊川町・錦町・石山町
⑨梅ヶ枝・末広地区	清水町・梅ヶ枝町・末広町
⑩若松・新富地区	有幌町・住吉町・信香町・若松・住ノ江・新富町
⑪潮見台・若竹地区	勝納町・潮見台・築港・若竹町
⑫奥沢・天神地区	奥沢・真栄・天神
⑬幸・オタモイ地区	幸・オタモイ
⑭赤岩・高島地区	赤岩・祝津・高島
⑮桜・望洋台地区	船浜町・桜・望洋台
⑯朝里・新光地区	朝里・新光・新光町・朝里川温泉
⑰銭函・桂岡地区	張碓町・銭函・星野町・見晴町・桂岡町・春香町
⑱塩谷・蘭島地区	塩谷・桃内・忍路・蘭島



←余市方面



札幌方面→

30-改. 学校施設等の概要（小学校）

（平成19年5月1日現在）

学校名	学級数		児童数 (人)	校長 教員数 (人)	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)		屋体面積 (㎡)		プール 設置の 有無	建築年度	大規模改造事 業実施年度	耐震基 準合致 の適否
	普通	特別 支援				木造	鉄筋造	木造	鉄筋造				
忍路中央	4	1	(1) 28	8	23,321		2,116	(586)	604		S55		
塩谷	6	1	(2) 140	11	86,941		4,616	(984)	999		S52, 55, 58, 59, 60, 61		
祝津	3	0	22	6	25,087		2,002	(726)	842		S63		○
高島	13	3	(3) 418	20	30,792		5,146	(979)	998	○	S55, 56, 58, H6		
幸	12	0	319	16	21,765		4,586	(745)	745	○	S46, 47, 50, 54, H元	H12, 13	
長橋	12	2	(3) 364	18	15,636	18	4,928	(850)	886		S53, 58		
北手宮	6	2	(2) 54	11	19,398	12	2,953	(575)	606		S53, 54, 56		
手宮西	6	0	140	10	33,538		4,023	(1,092)	1,092		H3, 4		○
手宮	6	0	132	10	(762) 12,885		4,439		705		S39	S62, H2, 3, 4, 5	
色内	6	2	(4) 149	13	11,859	15	3,832	(929)	1,092		S32, S59, H2	S63, H元	
稲穂	12	2	(3) 333	25	9,572		4,473	(1,040)	1,092		H7, H8		○
花園	6	3	(4) 189	16	12,556		4,260	(728)	756		S52, 54		
緑	6	2	(3) 204	13	(373) 11,910	33	4,368		734		S44, 45, 46		
最上	7	0	227	11	17,094		(10) 4,073	(1,114)	1,114		S61, 62		○
入船	6	2	(4) 178	12	25,664		(39) 3,535	(748)	780		S51, 52		
量徳	6	1	(1) 168	14	(104) 15,061		(15) 5,039	(876)	876		S36, 50		
奥沢	6	1	(1) 140	11	14,787	15	(76) 3,919	(756)	756		S51, 52		
天神	6	3	(4) 202	14	33,304	24	4,135	(765)	855		S54		
潮見台	6	0	166	10	10,975		5,087		997		S55, 56, 57		
若竹	6	2	(2) 136	12	19,079	12	(221) 3,162		615		S46, 47, 55		
桜	17	3	(3) 516	25	9,907		5,234		932		S41, 42, 49, 53, 54	H10	
望洋台	13	2	(3) 425	20	23,913		4,999	(1,023)	1,067		S58, 59, 63, H6		○
豊倉	5	0	41	8	5,646		(10) 1,100	(567)	841		S57, H2, 7, 17		○
朝里	20	4	(6) 658	30	12,685	61	6,412	(1,224)	1,224		S41, 42, 50, 51, 55, 57, 58, 59	H9	
張碓	6	1	(3) 63	10	17,187	23	(21) 1,482	(841)	841		H元, 2		○
桂岡	6	1	(1) 125	11	65,262		3,717	(900)	957	○	S51, 52, 54, 56, 57		
銭函	12	1	(2) 405	19	20,675		3,593	(1,114)	1,114		S63, H元		○
計	220	39	(55) 5,942	384	(1,239) 606,499	213	(392) 107,229	(19,162)	24,120	3			8

※児童・生徒の（ ）は特別支援学級児童・生徒数（外数） ※校地面積の（ ）は、借用面積（内数） ※校舎・屋体面積の（ ）は、鉄骨造面積（内数）

※耐震基準合致の適否は、昭和56年の建築基準法改正以降の建築事業により判断した。

学校施設等の概要（中学校）

（平成19年5月1日現在）

学校名	学級数		生徒数 (人)	校長 教員数 (人)	校地面積 (㎡)		校舎面積 (㎡)		屋体面積 (㎡)		プール 設置の 有無	建築年度	大規模改造事 業実施年度	耐震基 準合致 の適否
	普通	特別 支援			木造	鉄筋造	木造	鉄筋造						
忍路	3	0	19	10	20,482	540	1,626	(621)	621		S36, 42, 47, 48			
塩谷	3	0	82	10	16,735	292	(47) 2,996	(618)	618		S37, 47, 48, 58, 63	H14		
長橋	12	1	(2) 381	23	32,503		5,437	(1,343)	1,343	○	S46, 47, 52, 57, 59, H4			
北山	8	3	(3) 242	20	33,297	11	(71) 4,349	24	(725)	725		S33, 34, 35, 36, 48, 56	S62, 63	
末広	6	1	(1) 212	14	(906) 27,700	12	4,096	(1,025)	1,043		S53, 55, 57			
西陵	6	0	183	13	28,314		4,111	(1,000)	1,024	○	S56, 57, 58, H2		○	
菁園	9	5	(16) 296	25	10,621		5,600	(1,237)	1,237		H14, 15		○	
松ヶ枝	7	1	(1) 231	15	36,188		(48) 4,998	(1,237)	1,237		S31, 34, 36, H3	S58, 59, H元, 2		
向陽	6	2	(3) 196	16	(2,573) 31,607		5,164	(1,136)	1,136	○	S60, 61, H3		○	
潮見台	6	1	(1) 184	13	19,905		3,582	(1,219)	1,237		S50, 51, H4	H12, 13		
桜町	9	1	(1) 293	18	(193) 18,648	33	3,904	(1,035)	1,047		S36, 37, 42, 57, 60	H5, 6, 7, 8		
望洋台	7	2	(2) 197	16	28,523		(65) 3,540	(1,184)	1,261		H元		○	
朝里	10	2	(4) 335	22	24,869	91	(633) 4,929	(1,000)	1,024		S35, 36, 38, 43, 51, 54, 57, 58, 59, 61	H11, 12, 13		
銭函	10	3	(4) 310	22	(6,767) 22,526	287	4,339	(996)	996		S53, 54, 55, 59			
計	102	22	(38) 3,161	237	(10,439) 351,918	1,266	(864) 58,671	24	(14,376)	14,549	3			4

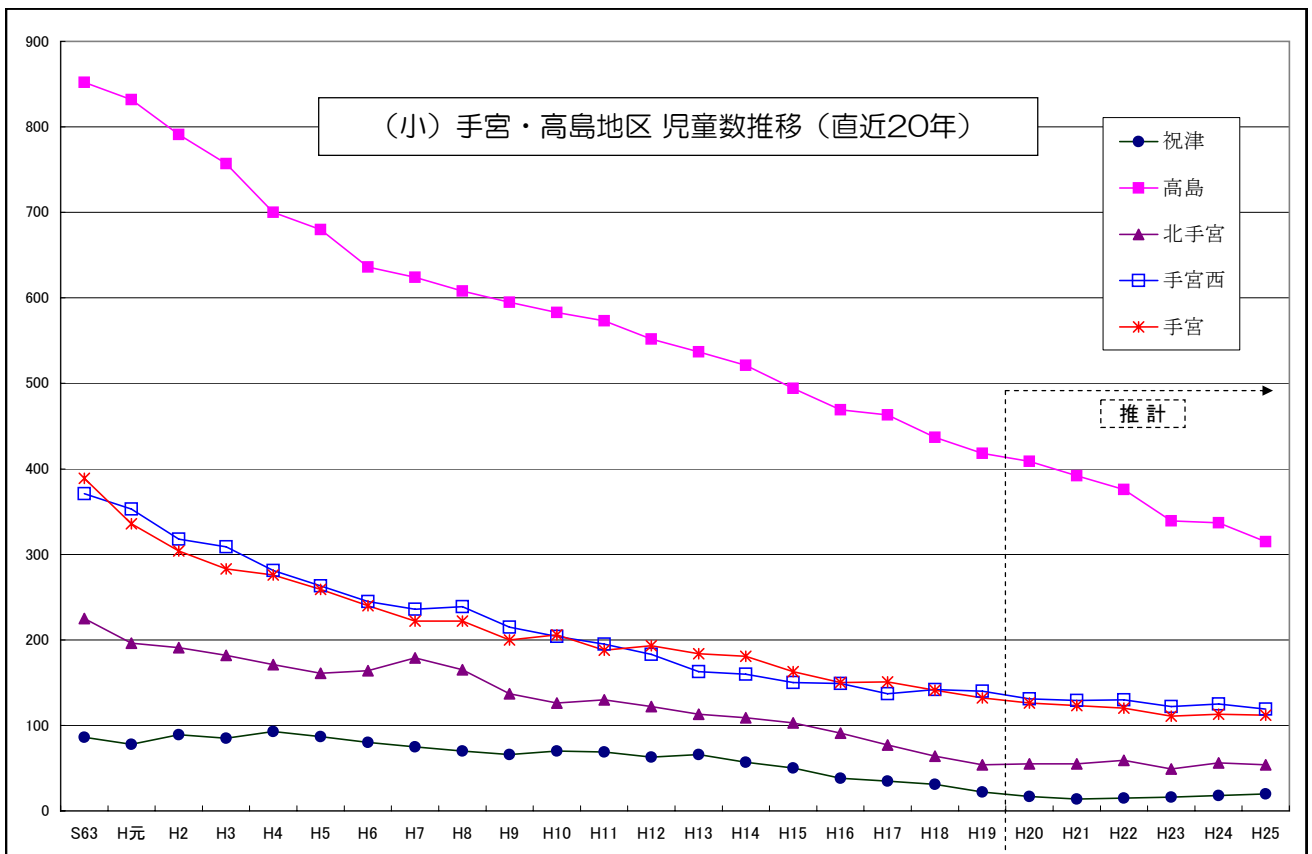
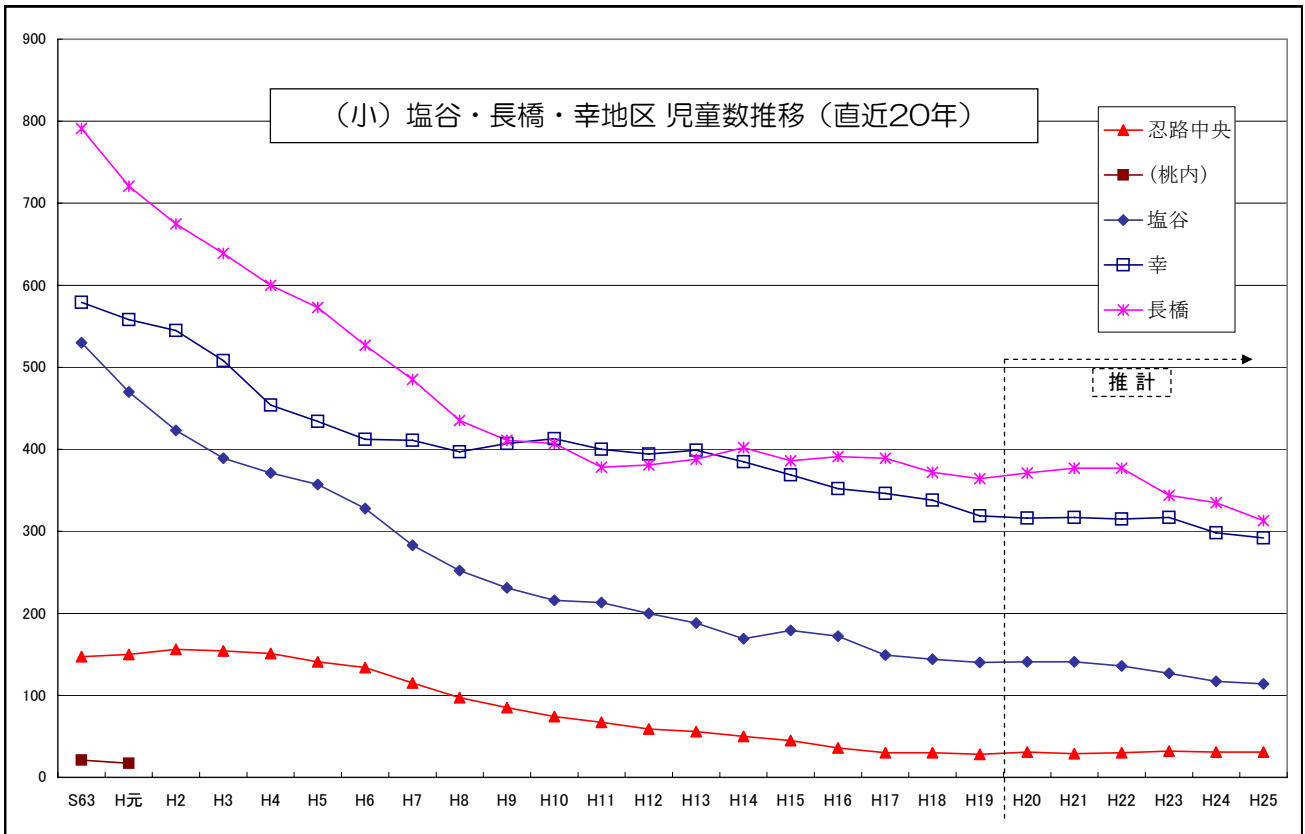
※児童・生徒の（ ）は特別支援学級児童・生徒数（外数） ※校地面積の（ ）は、借用面積（内数） ※校舎・屋体面積の（ ）は、鉄骨造面積（内数）
 ※耐震基準合致の適否は、昭和56年の建築基準法改正以降の建築事業により判断した。

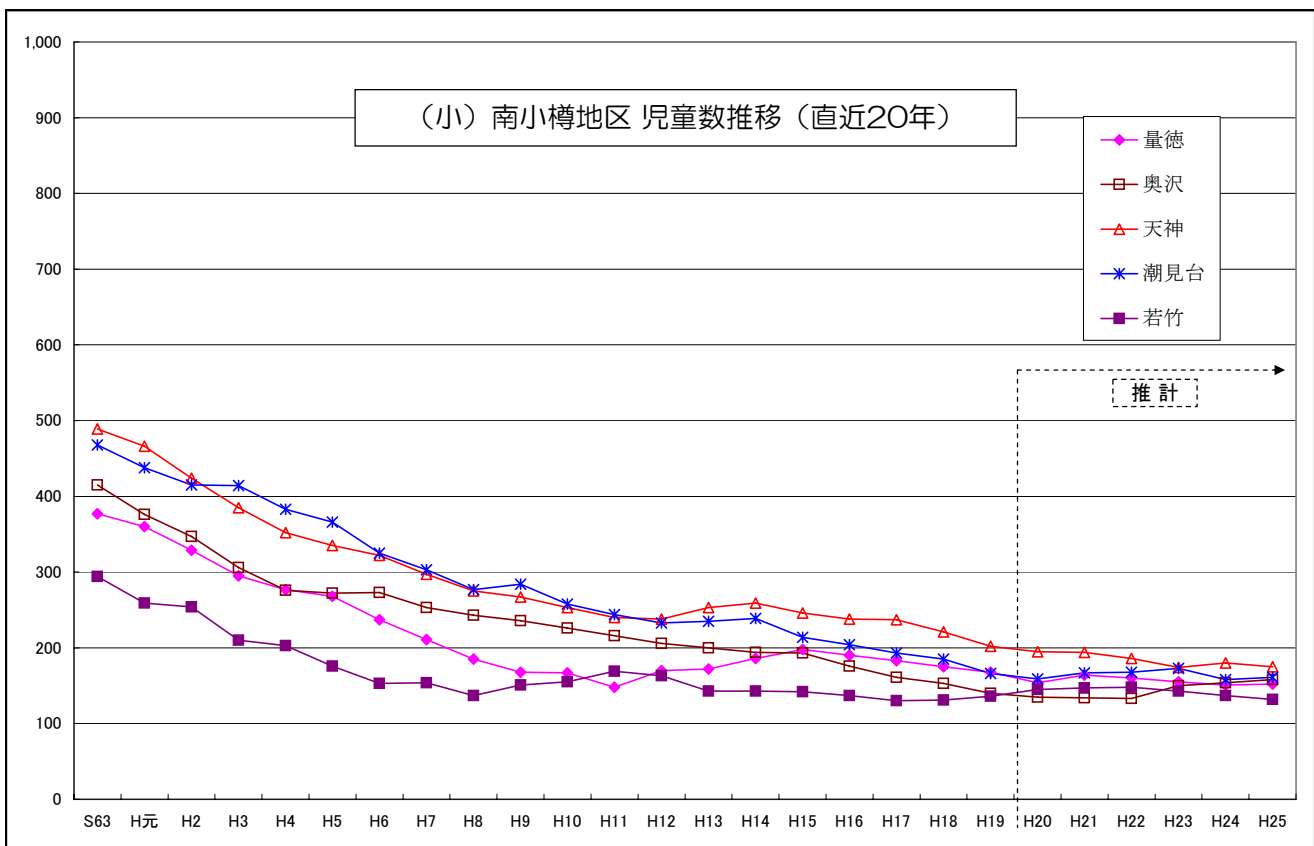
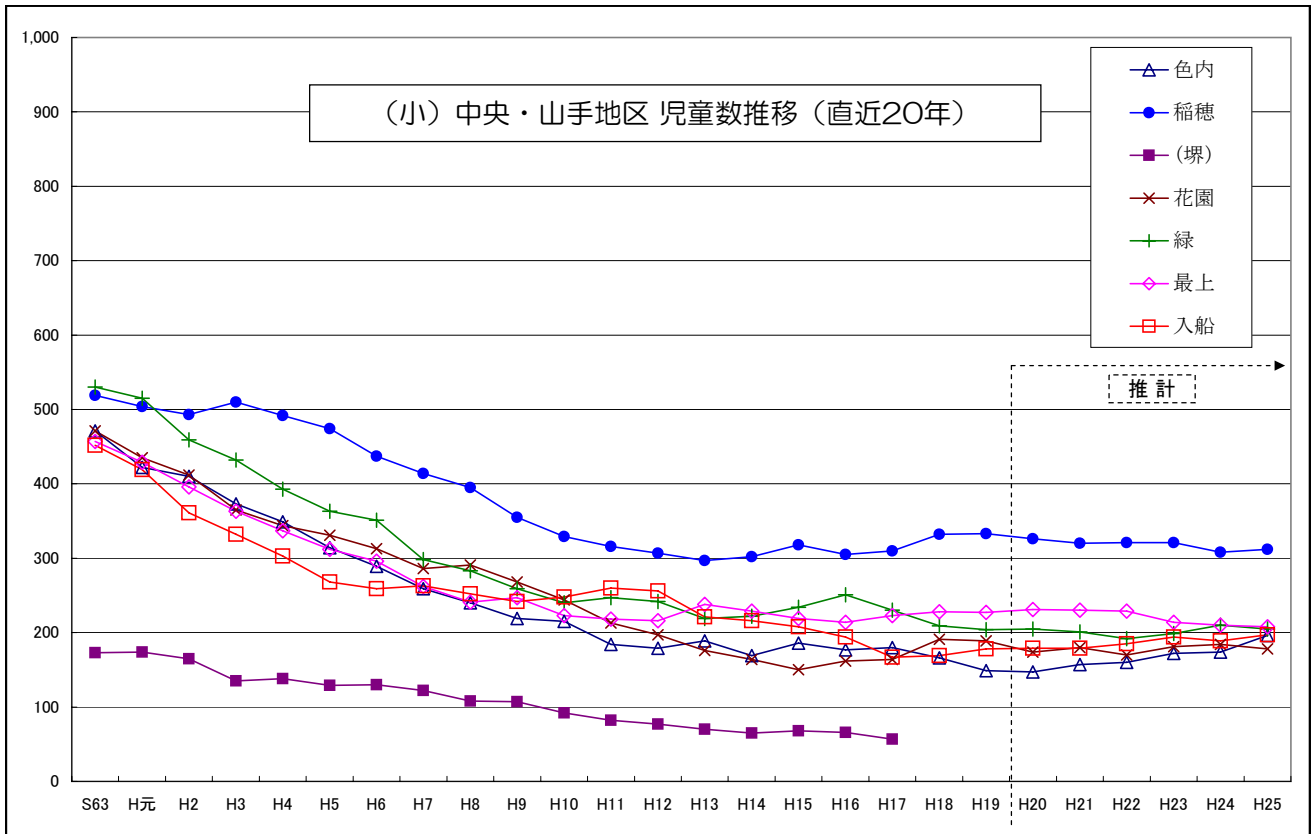
31-改. 指定小中学校の区域一覧（小学校順）

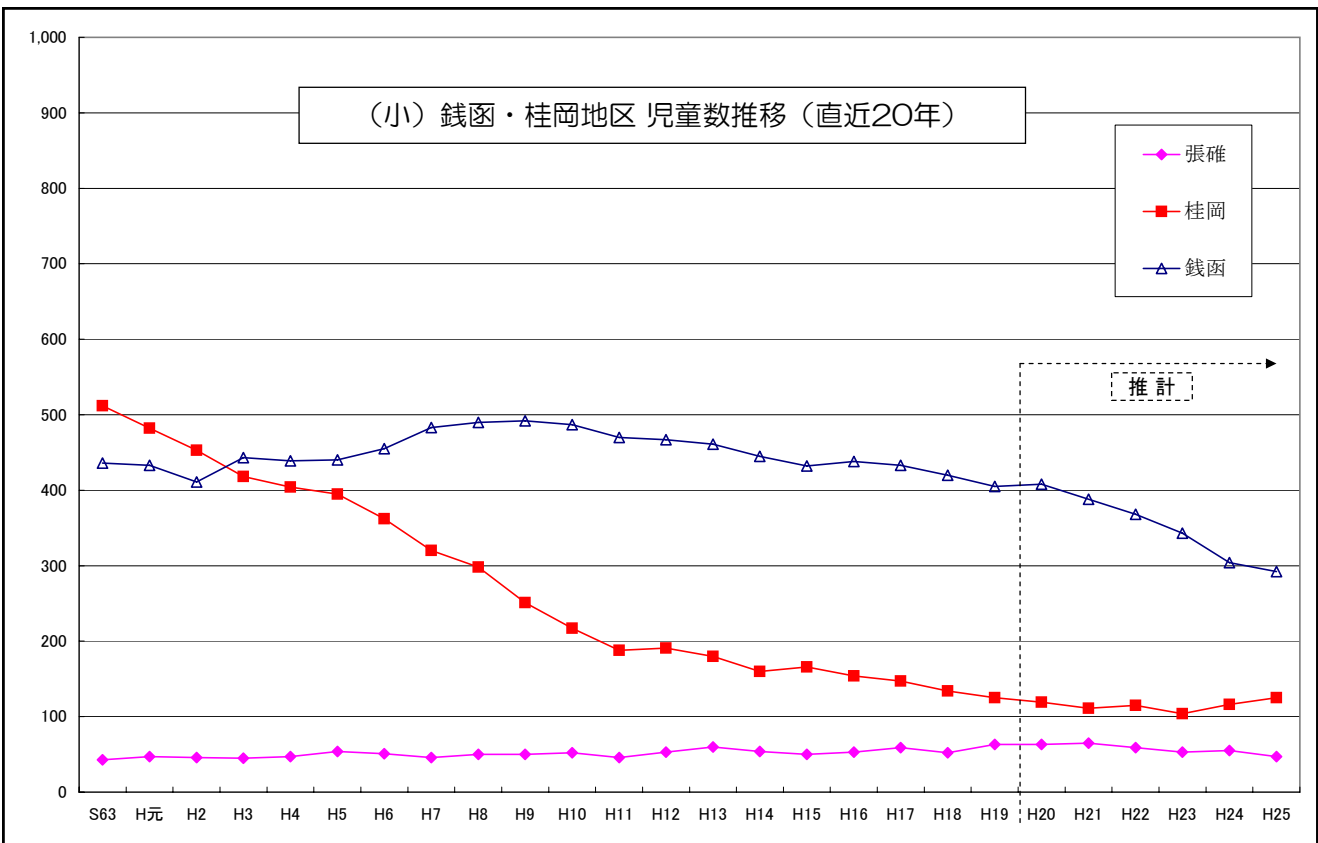
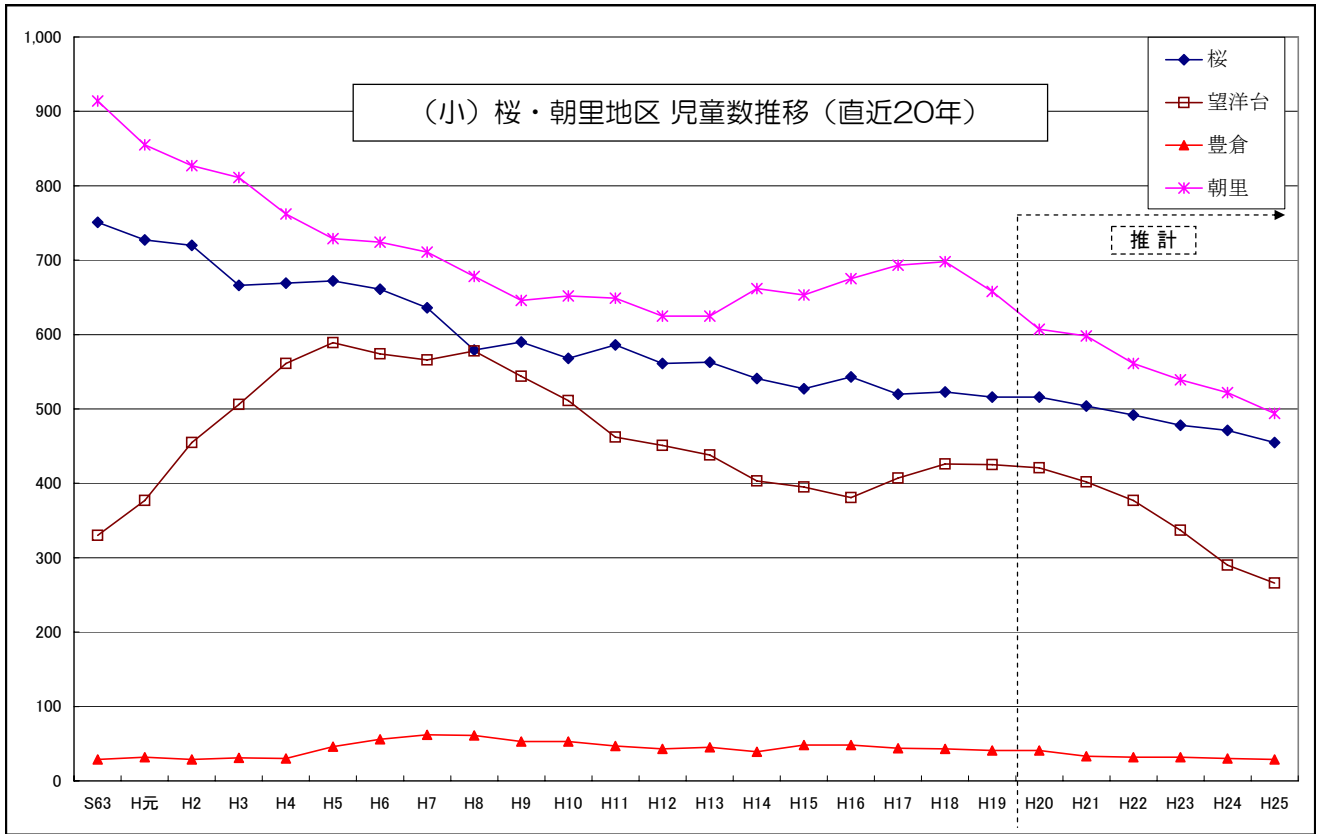
指定小学校	区 域	指定中学校
忍 路 中 央	忍路1～3丁目	忍 路
	桃内1～3丁目	
	蘭島1～3丁目	
塩 谷	塩谷1～2丁目	塩 谷
	塩谷3丁目19番地～	
	塩谷4～5丁目	
祝 津	祝津1丁目4番地～	北山
	祝津2丁目(308, 344, 354, 355, 358～360, 364, 367～369, 371番地を除く)	北山
	祝津3～4丁目	北山
高 島	赤岩1丁目6～11番、18番～	北山
	赤岩2～3丁目	北山
	祝津1丁目1～3番地	北山
	祝津2丁目308, 344, 354, 355, 358～360, 364, 367～369, 371番地	北山
	高島1～3丁目	末広
	高島4丁目1～6番	末広
	高島4丁目7～14番	北山
	高島5丁目1～4番	末広
高島5丁目5番～	北山	
幸	オタモイ1丁目10番～	長橋
	幸1丁目	長橋
	幸2丁目8～18番、22番、25～27番	長橋
	幸3～4丁目	長橋
長 橋	旭町	長橋
	オタモイ1丁目1～9番	長橋
	オタモイ2～4丁目	長橋
	幸2丁目1～7番、19～21番、23番、24番	長橋
	塩谷3丁目1～18番地	長橋
	長橋1丁目18番～	長橋
	長橋2丁目15番～	長橋
	長橋3丁目1～17番、22番～	長橋
	長橋4～5丁目	長橋
北 手 宮	赤岩1丁目1～5番、12～17番	北山
	梅ヶ枝町12番～	北山
	清水町24番～	北山
	末広町27～33番	北山
手 宮 西	石山町	末広
	清水町1～23番	末広
	豊川町(3番、11番を除く)	末広
	長橋3丁目18～21番	末広
	錦町1～15番、20番	末広
手 宮	色内3丁目8～10番	末広
	梅ヶ枝町1～11番	末広
	末広町1～26番、34番～	末広
	高島4丁目15番	末広
	手宮1～3丁目	末広
	豊川町3番、11番	末広
	錦町16～19番、21番～	末広
色 内	稲穂4～5丁目	西陵
	色内2丁目5～8番、16番～	西陵
	色内3丁目1～7番、11番～	西陵
	長橋1丁目1～17番	西陵
	長橋2丁目1～14番	西陵

指定小学校	区 域	指定中学校
稲 穂	稲穂1丁目1～5番	菁園
	稲穂1丁目6～12番	西陵
	稲穂2～3丁目	西陵
	色内1丁目1～3番、8～14番	菁園
	色内1丁目4～7番、15番	西陵
	色内2丁目1～4番、9～15番	西陵
	塚町1～5番	菁園
	東雲町	菁園
	富岡1丁目1～32番	西陵
	富岡2丁目	西陵
	花園1～2丁目	菁園
	緑1丁目1～8番	西陵
	港町1番、6番、7番、9番、10番	菁園
	港町2～5番	西陵
	山田町1～4番	菁園
花 園	相生町	菁園
	入船2丁目1～19番	菁園
	入船4丁目1～4番、28～35番	菁園
	入船5丁目1～4番、19番	菁園
	塚町6～8番	菁園
	花園3丁目1～17番、22番～	菁園
	花園4丁目	菁園
	花園5丁目3～10番	菁園
	山田町5～8番	菁園
緑	入船5丁目5～18番	菁園
	富岡1丁目33番～	西陵
	花園5丁目1番、2番	菁園
	緑1丁目9～15番、28～31番	西陵
	緑1丁目16～27番	松ヶ枝
	緑2丁目	松ヶ枝
	緑3丁目1～11番	西陵
	緑3丁目12番、13番	松ヶ枝
	緑4丁目	西陵
最 上	天狗山1～2丁目	松ヶ枝
	松ヶ枝1丁目1～4番	松ヶ枝
	松ヶ枝2丁目1～4番、22番～	松ヶ枝
	緑3丁目14番～	松ヶ枝
	緑5丁目1番、2番	松ヶ枝
	最上1～2丁目	松ヶ枝
入 船	入船2丁目20番～	菁園
	入船3丁目	菁園
	入船4丁目5～27番	菁園
	入船5丁目20番～	菁園
	奥沢3丁目6番	菁園
	奥沢4丁目1番、2番	菁園
	松ヶ枝1丁目5番～(36番を除く)	松ヶ枝
	松ヶ枝1丁目36番	菁園
松ヶ枝2丁目5～21番	松ヶ枝	
量 徳	有幌町	潮見台
	入船1丁目	菁園
	住ノ江1～2丁目	菁園
	住吉町1～10番	菁園
	住吉町11番～	潮見台

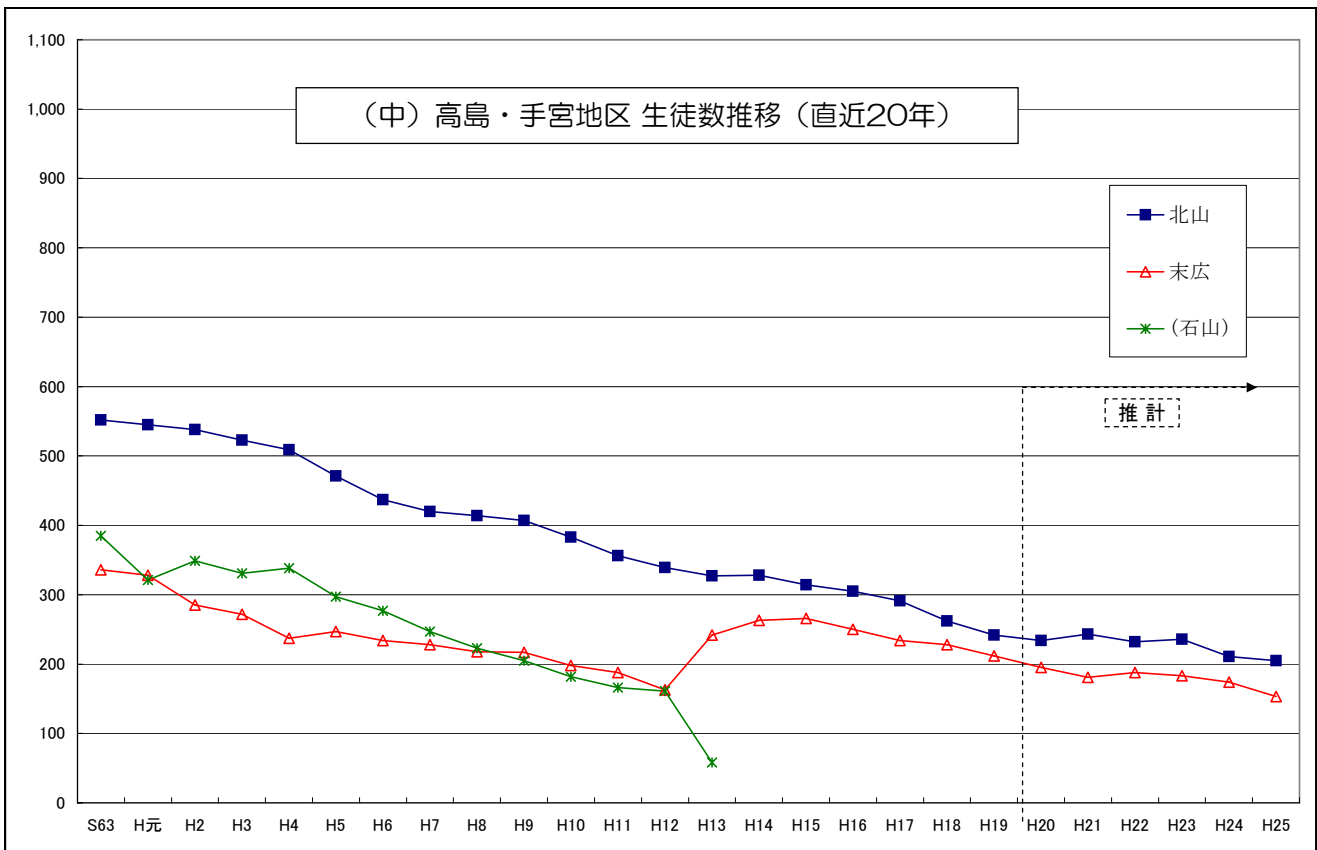
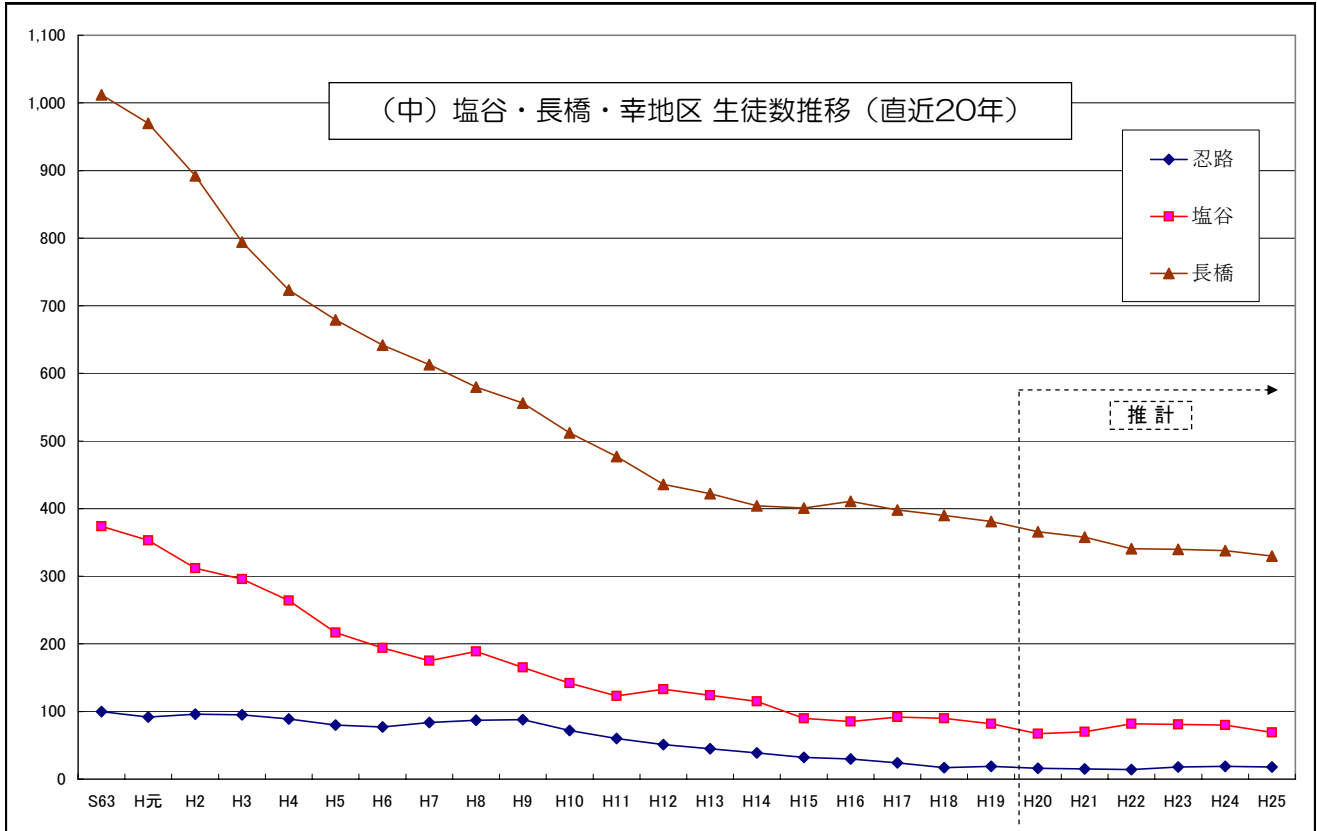
指定小学校	区 域	指定中学校
(量徳続き)	信香町	潮見台
	花園3丁目18～21番	菁園
	港町8番	菁園
	若松1～2丁目	潮見台
奥 沢	奥沢1丁目	潮見台
	奥沢2丁目	向陽
	奥沢3丁目1～5番、7番、9～21番、27～29番	向陽
	真栄1丁目8番～	向陽
	真栄2丁目	向陽
天 神	奥沢3丁目8番、22～26番、30番～	向陽
	奥沢4丁目(1番、2番を除く)	向陽
	奥沢5丁目	向陽
	天神1～4丁目	向陽
潮 見 台	勝納町	潮見台
	潮見台1～4丁目	潮見台
	新富町	潮見台
	築港5～10番	潮見台
	真栄1丁目1～7番	潮見台
若 竹	築港1～4番、11番～	潮見台
	若竹町1～9番、27～34番	潮見台
	若竹町10～26番、35番～	桜町
桜	桜1～2丁目	桜町
	桜3丁目1～6番、18～21番、23番	桜町
	桜4丁目1～3番、6番	桜町
	桜5丁目1～19番、23番～	桜町
	船浜町	桜町
望 洋 台	桜3丁目7～17番、22番、24番、25番	望 洋 台
	桜4丁目4番、5番、7～10番	
	桜5丁目20～22番	
	望洋台1～4丁目	
豊 倉	朝里川温泉1～3丁目	朝里
朝 里	朝里1～4丁目	朝里
	桜3丁目26番	朝里
	新光1～5丁目	朝里
	新光町	朝里
張 碓	張碓町	銭函
	春香町	銭函
桂 岡	桂岡町	銭函
	銭函1丁目1～10番、12番、30番～	銭函
銭 函	銭函1丁目11番、13～29番	銭函
	銭函2～5丁目	銭函
	星野町	銭函
	見晴町	銭函

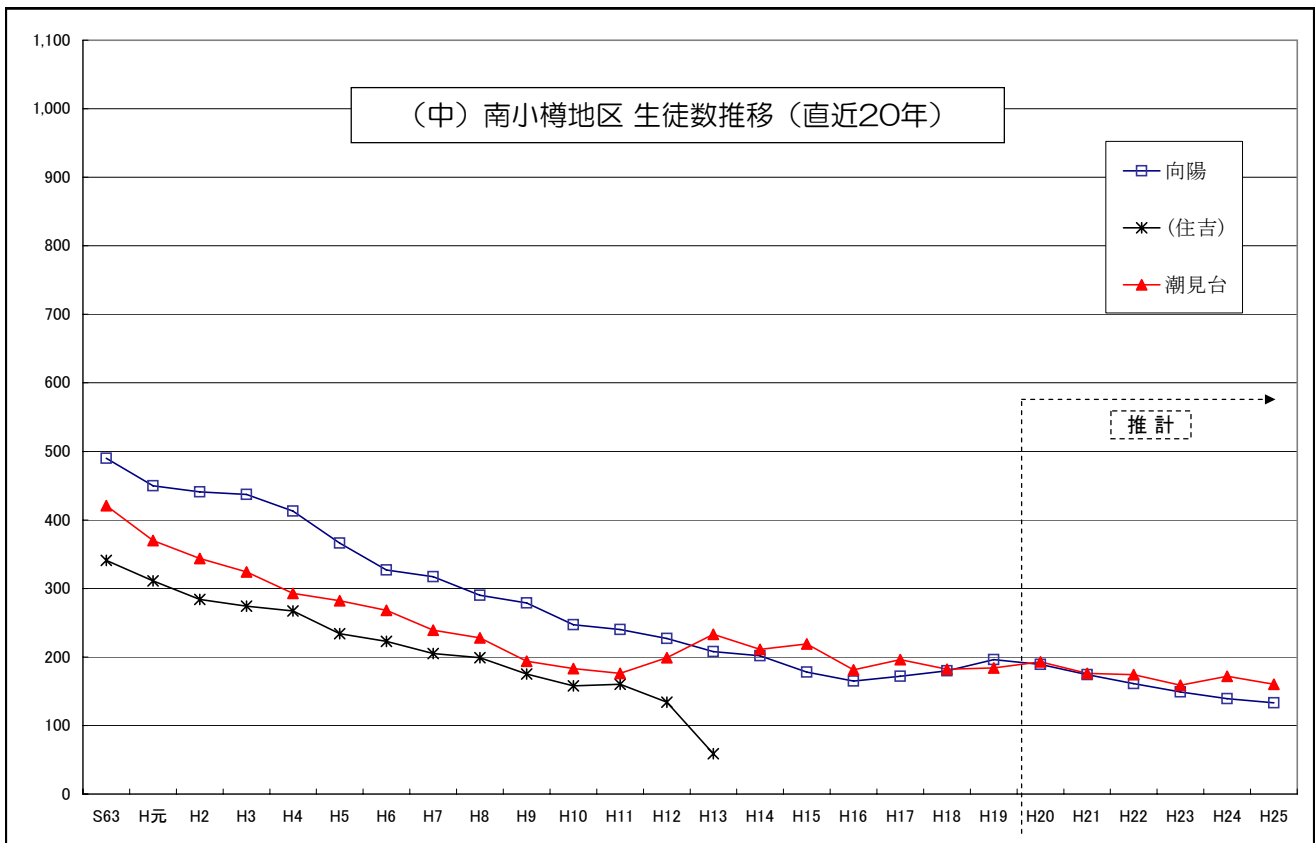
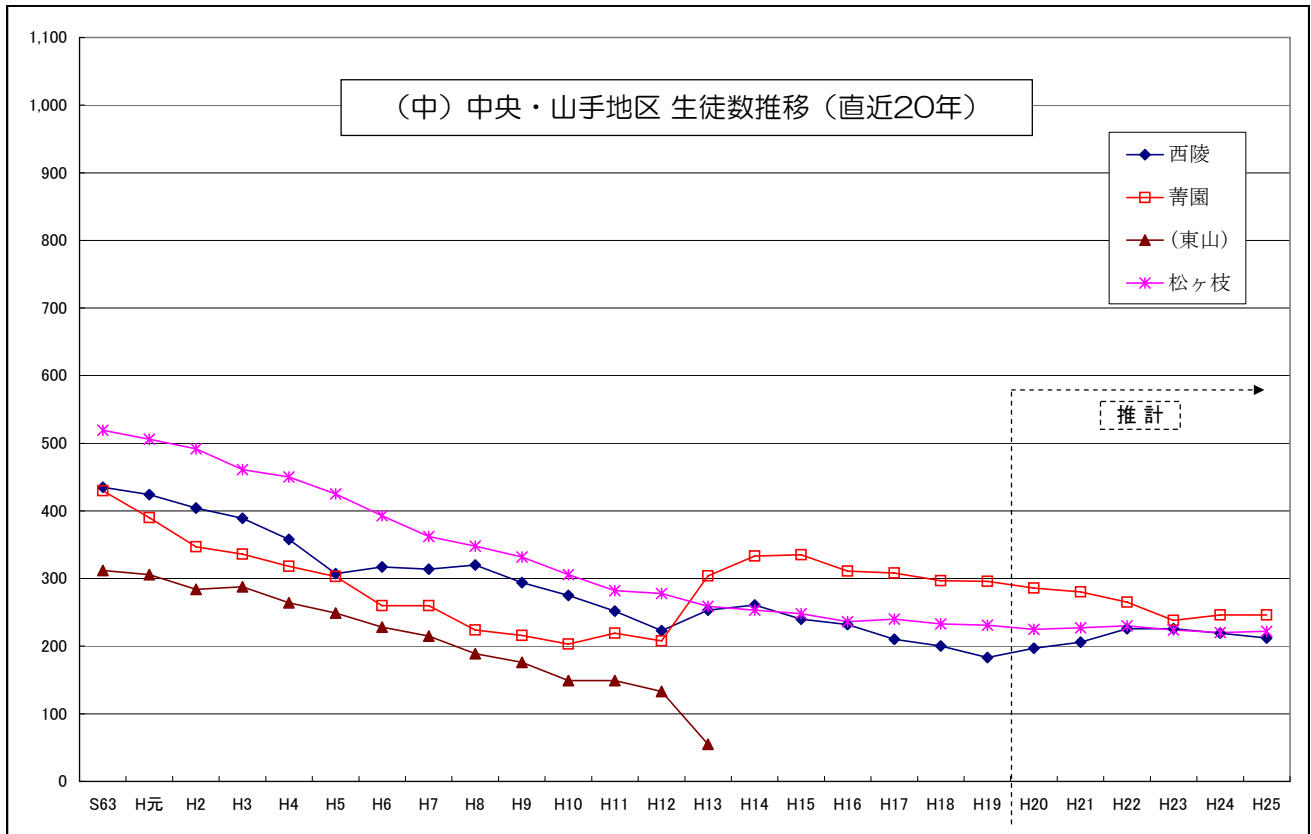


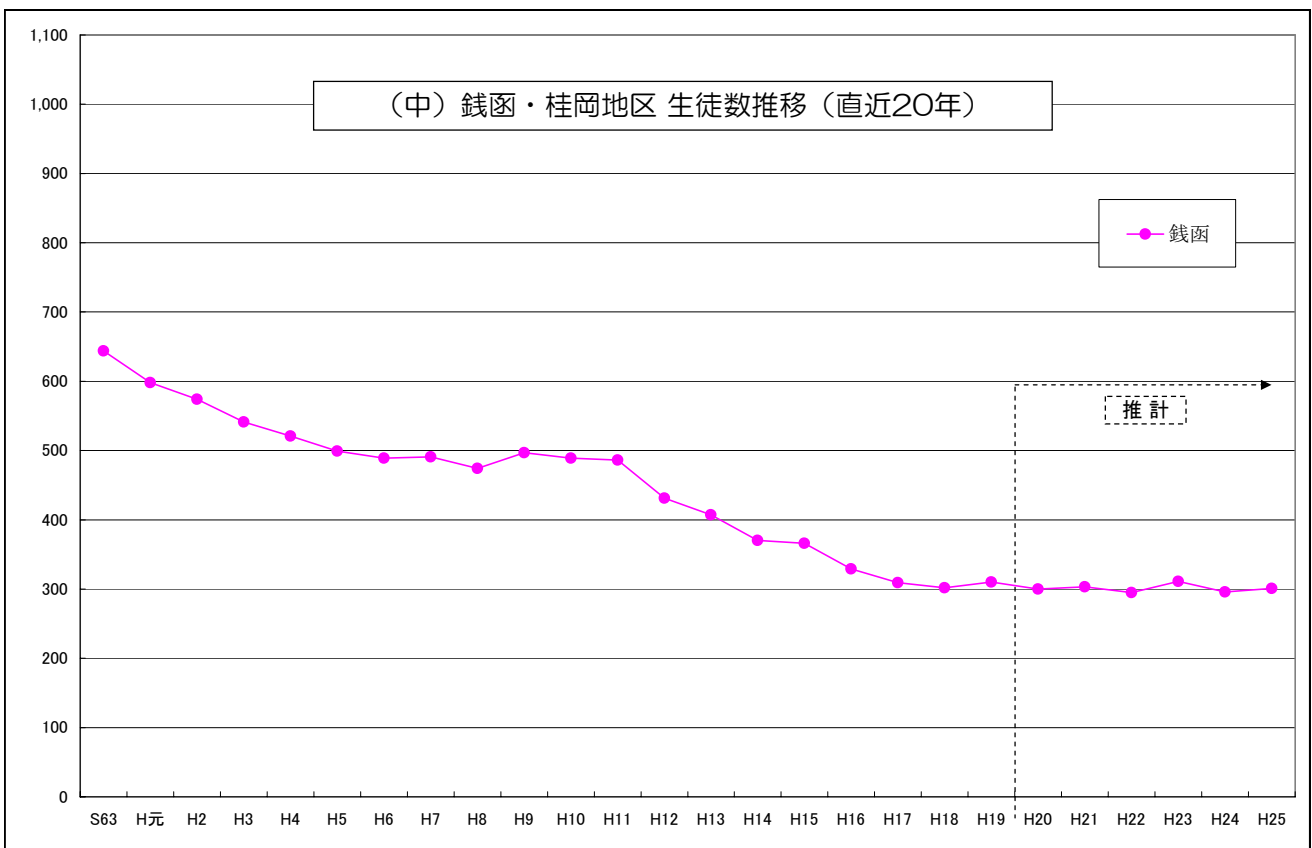
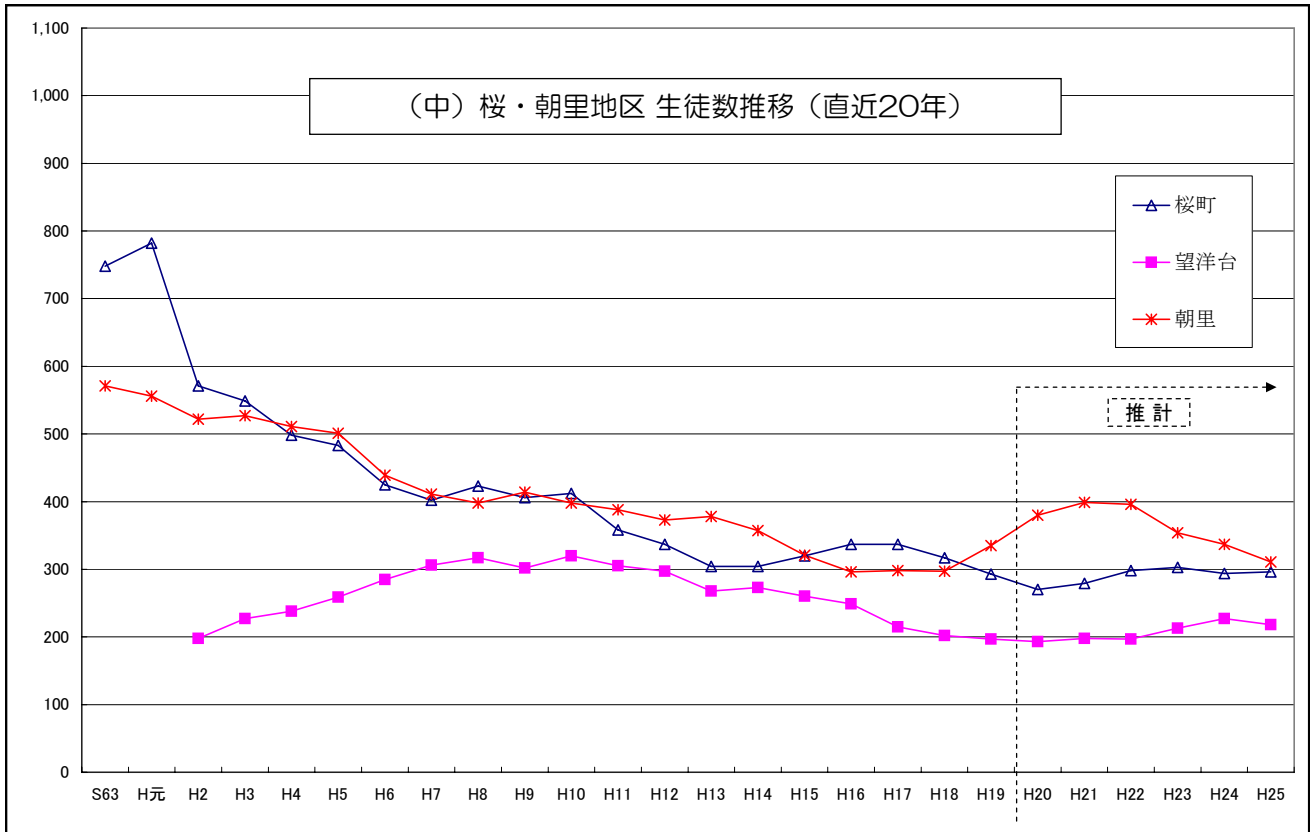




39-改. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.4







4 1 -改. 1 学級あたりの児童生徒数の区分に応じた学級数とその割合

平成19年度（普通学級）

		1～9人	10～19人	20～24人	25～29人	30～34人	35～40人	計
小学校	学級数	13	16	39	52	66	34	220
	割合	5.9%	7.3%	17.7%	23.6%	30.0%	15.5%	
中学校	学級数	3		4	19	61	15	102
	割合	3.0%		3.9%	18.6%	59.8%	14.7%	
小中の計	学級数	16	16	43	71	127	49	322
	割合	5.0%	5.0%	13.4%	22.0%	39.4%	15.2%	